

2022年度（令和4年度）第2回 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会

日 時：2022年（令和4年）11月30日（水）14:00～
場 所：まなびの館ローズコム4階小3会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

（1）報告事項

協議会及び地域部会における公共交通計画作成に向けた協議経過について

資料1

（2）情報提供

①交通事業者からの話題提供（西日本旅客鉄道株式会社，井原鉄道株式会社）

②中国運輸局からの情報提供

③公共交通の利用促進策の事例

資料2

（3）協議事項

福山・笠岡地域公共交通計画の構成について

資料3

（4）今後のスケジュールについて

資料4

3 その他

4 閉 会

●協議会及び地域部会における公共交通計画作成に向けた協議経過について

- 7月4日 第1回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会
(協議内容)
・「新たな福山・笠岡地域公共交通計画の作成」について
- 11月7日 第2回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会福山地域部会
(協議内容)
・福山地域の公共交通の現状について
・公共交通ネットワークの検討について
・本年度実施する調査について
・交通事業者からの話題提供
・広島県地域公共交通ビジョンの策定について
- 11月21日 第2回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会笠岡部会
(協議内容)
・笠岡地域の公共交通の現状について
・公共交通ネットワークの検討について
・本年度実施する調査について
・交通事業者からの話題提供

1. 福山・笠岡各地域部会における協議の状況について

■地域公共交通を取り巻く環境からみる問題点

項目	地域公共交通を取り巻く環境からみる問題点
公共交通利用者数の減少	<ul style="list-style-type: none">● 両市とも将来にかけて人口減少が続き、さらには少子高齢化が進行。年少人口の構成比は年々減少傾向となっており、公共交通の通学利用においても減少していくことが推察。(公共交通の現状p2,3)● 人口減少に伴い、鉄道、バス、航路、タクシー等の公共交通利用者は減少傾向で推移。(公共交通の現状p8,9,15,16,17)● さらには、新型コロナウイルスの影響により、利用者数は激減。(バス事業者からの話題提供p32)
高齢化による移動の制約	<ul style="list-style-type: none">● 免許返納者は増加傾向で推移しており、今後も高齢者の運転免許自主返納が進むことが予想されるなかで高齢者の移動手段の確保が必要な状況にある。(公共交通の現状p5,6)● 特に、単独世帯が多い高齢者は、自らの運転で移動できない状況と考えられ、移動の制約が大きいと考えられる。(公共交通の現状p4)
コロナ禍による生活様式の変化	<ul style="list-style-type: none">● 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、リモートワーク、交通手段の変更、外出期間の減少等で、利用者数は大きく減少。さらには、公共交通の利用者数は完全に戻らないと予測される。(バス事業者からの話題提供p32)● 過去5年間実施していた、海岸の清掃事業の中止等の影響もあり、学生や社会人等の島外の利用者が減り、大きな影響を与えている。(航路事業者からの話題提供p34)● 新型コロナウイルス感染症の流行により、公共交通事業者の輸送収入の減少が生じ、公共交通の存続に影響を与えている。(公共交通の現状p20)
市の財源負担の増大	<ul style="list-style-type: none">● 両市の補助金額は、増加傾向にあり、特に近年は新型コロナウイルス感染症の流行により大きく増加。(公共交通の現状p18,19)● また、利用者数は減少傾向に推移する中で、補助金額は増加傾向又は横這いに推移するなど、今後さらに人口減少・少子高齢化が進むなかで、財源の確保が困難な状況にある。(公共交通の現状p18,19)

1. 福山・笠岡各地域部会における協議の状況について

■ 地域公共交通事業者の現状からみる問題点

項目	地域公共交通事業者の現状からみる問題点
乗務員のなり手不足と高齢化	<ul style="list-style-type: none">● 自動車運転の職業の求人倍率は全職種平均と比較しても高く、ドライバーが不足している現状であるとともに、ドライバーの高齢化も進んでいる。(公共交通の現状p11,12)● 乗務員のなり手不足による高齢化も大きな問題。雇用増進の為に給与を上げたいが、赤字経営の中では難しい。(バス事業者からの話題提供p32)
交通事業者の経営悪化 (原油・原材料費の高騰, 最低賃金の値上げ)	<ul style="list-style-type: none">● 昨今の世界状況の影響により、原油・原材料が高騰し、人手不足も相まって経営は厳しい状況。(バス事業者からの話題提供p32, タクシー事業者からの話題提供p33)● 最低賃金の値上げにより更なる経営苦渋。(タクシー事業者からの話題提供p33)● 2025年3月でPASPYが廃止され、更に大きな投資が必要な状況もある。(バス事業者からの話題提供p32)● 予約時の効率化の為にアプリを高齢者が使えず、電話予約時のオペレーターが人手不足で対応が難しい。(タクシー事業者からの話題提供p33)● 離島航路補助は事前算出した数字と実際の赤字額との差異は大きく、実損分の補助金を確保できていない。(航路事業者からの話題提供p34)● 今後、事業者が連携・地域が一体となって、複数のサービスを最適化した組み合わせが必要と考えている。(航路事業者からの話題提供p34)

■ 公共交通の利用促進策の事例

	具体施策	内容・事例
地域公共交通に関する情報提供サービスの充実	バスロケーションシステムの拡充	・福山市において導入済み(パソコン, スマホ, 携帯に対応)
	バス総合案内システムの拡充	・福山駅において導入済み
	公共交通総合時刻表の作成	【事例】子育て世代等ターゲット絞った広報, 転入届とセットで配布
	バスマップ等の配布	※前回計画3-①
	駅での情報提供の高度化	デジタルサイネージによる交通・観光情報の提供 ※前回計画3-③
	新たなツールでの公共交通の情報発信	グーグルマップでのバス停表示 ユーチューブ, SNS等での情報発信(外国人対応も含め)
	目的地別の時刻表	【事例】エリアを絞った目的別時刻表の配布(十勝バス)、日帰りバスパック(八戸市)
	バス路線の沿線住民への周知	【事例】沿線地域へ直接訪問し割引制度について直接説明(十勝バス)
新たな運賃制度や決済方法の導入	ゾーン運賃	【事例】一律運賃区間の設定
	各種定期券の販売	【事例】半額定期券, オフピーク定期券(非混雑時のみ利用可), 環境定期券(土日祝における区間外の割引, 所有者の同伴者の割引), 高齢者定期券, 全線定期券, 地区定期券, 持参人式定期券(購入者以外も利用可), 通学定期への補助 等
	サブスクリプションの導入	【事例】土日祝乗り放題(東京メトロ) 【事例】オンデマンド乗り放題(大阪市等)
	バス事業者共通定期	【事例】広島共通バス定期券(広島)
	事業者共同定期券の販売	【事例】バス事業者・鉄道事業者の共同運賃・通し運賃の設定及び収入調整(徳島)
	運賃無料デー, 100円デーの導入	無料デー(岡山, 熊本), とさでんワンコインデー(土佐市)
	商業施設と連携したポイント割引(ICカード利用者)	【事例】公共交通を利用した来店客へのポイント付与
	免許返納にかかる特典	料金割引・回数券の配布など 【事例】おかやま愛カード(岡山)
	各種企画切符の販売	【事例】2日間乗り放題「サンキューちばフリーバス」2022.9.1~11/29販売(鉄道, 路線バス, フェリー乗り放題)(千葉)
利用しやすい運行ダイヤへの改善	駅アクセス・病院アクセス性の高いダイヤへの改編	鉄道ダイヤ・通院時間とのダイヤの調整
	始発, 終発バスの時刻変更	
	主要路線におけるパターンダイヤの導入	
交通拠点の機能強化	バス停待合環境の整備	【事例】路線バスの待合所とコンビニ店舗を直結(岐阜)
	乗継拠点の整備	※前回計画2-①
	乗継割引(ICカード利用者)	・PASPYによるバス・バス, バス・鉄道の乗継割引を実施中 他のICカードへの拡充

福山・笠岡地域公共交通計画の構成について

2022年（令和4年）11月 30日

福山市・笠岡市

目次

1. 福山・笠岡地域公共交通計画の構成について
2. 今後のスケジュール

1. 福山・笠岡地域公共交通計画の構成について

「地域公共交通計画」に記載すべき事項

前回協議会資料より再掲

【記載事項】

- ① 地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本方針
- ② 計画の区域
- ③ 計画の目標

※目標設定に当たり、地域旅客運送サービスについての利用者の数、収支、地域旅客運送サービスの費用に対する国及び地方公共団体の負担に関する金額、その他必要と認める事項について定量的な目標を設定するよう努めるものとする。

- ④ ③の目標を達成するために行う事業・実施主体
- ⑤ 計画の達成状況の評価に関する事項
- ⑥ 計画期間
- ⑦ その他計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

【記載に努める事項】

- ① 計画に定められた目標を達成するために行う事業に必要な資金の確保に関する事項
- ② 都市機能の推進に必要な施設の立地の適正化に関する施策との連携に関する事項
- ③ 観光の振興に関する施策との連携に関する事項
- ④ ①～③のほか、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に際し配慮すべき事項

※「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き」(R4.3 国土交通省)を引用

1. 福山・笠岡地域公共交通計画の構成について

「地域公共交通計画」 に記載すべき事項	福山・笠岡地域公共交通計画の構成案の項目	
① 基本方針	<p><基本的な方針を検討する為の問題点・課題の整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ■福山・笠岡地域の現況 ■生活交通に関するニーズ(市民アンケート調査結果) ■交通事業者等からの意見 (事業者ヒアリング, タクシー事業者アンケート等) ■前計画の評価 <p>■地域公共交通に係る問題点と課題の整理</p> <p><問題点・課題を踏まえた基本的な方針の設定></p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域公共交通計画における取組 (基本的な方針) 	<p>⇒次ページ目次第2章</p> <p>⇒次ページ目次第3章</p> <p>⇒次ページ目次第4章</p> <p>⇒次ページ目次第5章</p> <p>⇒次ページ目次第6章</p> <p>⇒次ページ目次第7章</p>
② 計画の区域	■計画の目的と位置づけ(目的, 対象区域, 対象期間等)	⇒次ページ目次第1章
③ 計画の目標	■地域公共交通計画における取組 (計画の目標と評価指標)	⇒次ページ目次第7章
④ 事業・実施主体	■地域公共交通計画における取組 (目標を達成するための取組)	⇒次ページ目次第7章
⑤ 計画の達成状況 の評価	■目標達成状況の評価と事業展開 (①目標達成状況の評価方針 ②事業展開)	⇒次ページ目次第8章
⑥ 計画期間	■計画の目的と位置づけ(目的, 対象区域, 対象期間等)	⇒次ページ目次第1章
記載に努める事項①～④	(必要に応じて計画書へ記載)	⇒次ページ目次第7章等 3

1. 福山・笠岡地域公共交通計画の構成について

【福山・笠岡地域公共交通計画の構成案】

■第1章 計画の目的と位置づけ

→5-6ページに記載

■第2章 福山・笠岡地域の現況

→地域部会にて報告済み（参考資料に記載）

■第3章 生活交通に関するニーズ

①市民アンケート調査結果

→11月に実施。現在集計中。

■第4章 交通事業者等からの意見

①事業者ヒアリング結果

→地域部会にて報告済み（参考資料に記載）

②タクシー事業者アンケート結果

→11月に実施。現在集計中。

③庁内関係部署アンケート結果

→11月に実施。現在集計中。

■第5章 前計画の評価

→7ページに記載

■第6章 地域公共交通に係る問題点と課題の整理

①地域公共交通の役割

→8ページに記載

②2～5章の結果を受けての問題点

(1) 地域公共交通を取り巻く環境からみる問題点

(2) 地域公共交通事業者の現状からみる問題点

→資料1に記載（一部）

③課題の整理

■第7章 地域公共交通計画における取組

①基本的な方針

②計画の目標と評価指標

③目標を達成するための取組

■第8章 目標達成状況の評価と事業展開

①目標達成状況の評価方針

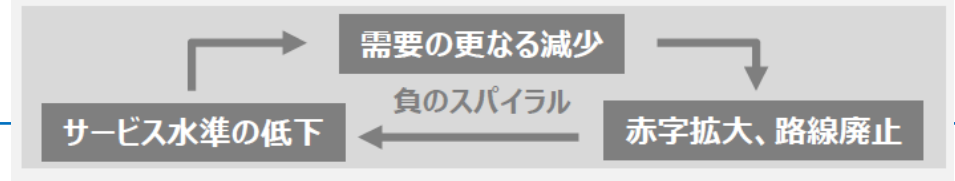
②事業展開

1. 福山・笠岡地域公共交通計画の構成について

【計画の目的】

■ 背景

- 人口減少やモータリゼーションの進展により、
利用者の減少 ⇒ 交通事業の経営悪化 ⇒ サービス低下（負のスパイラル）が進行
- 運転手不足やコロナ禍の影響により、地域公共交通の維持・確保が一層厳しい状況
- 地域公共交通活性化再生法の改正。（従前の計画に対し対象や内容、位置づけ、実効性確保のそれぞれの面で充実させ、新たな計画とすることで、地域交通に関する各種の取組を更に促進していくことを目的とする（令和2年11月施行））



■ 計画作成の必要性

- 免許返納者の増加や高齢者の移動手段の確保が社会問題として顕在化
- 運転手の不足や交通事業者の経営悪化
- **地域の社会経済活動を支える基盤（社会インフラ）として、持続可能な地域公共交通の実現が必要**

■ ビジョン 「暮らしを支える持続可能な地域交通サービスの実現」を推進する

■ 計画の目的

地域の社会経済活動を支える基盤（社会インフラ）である地域公共交通を、地域の特性や利用状況に合った暮らしを支える質の高い移動サービスとして持続的に確保するため、福山・笠岡地域公共交通計画を作成します。

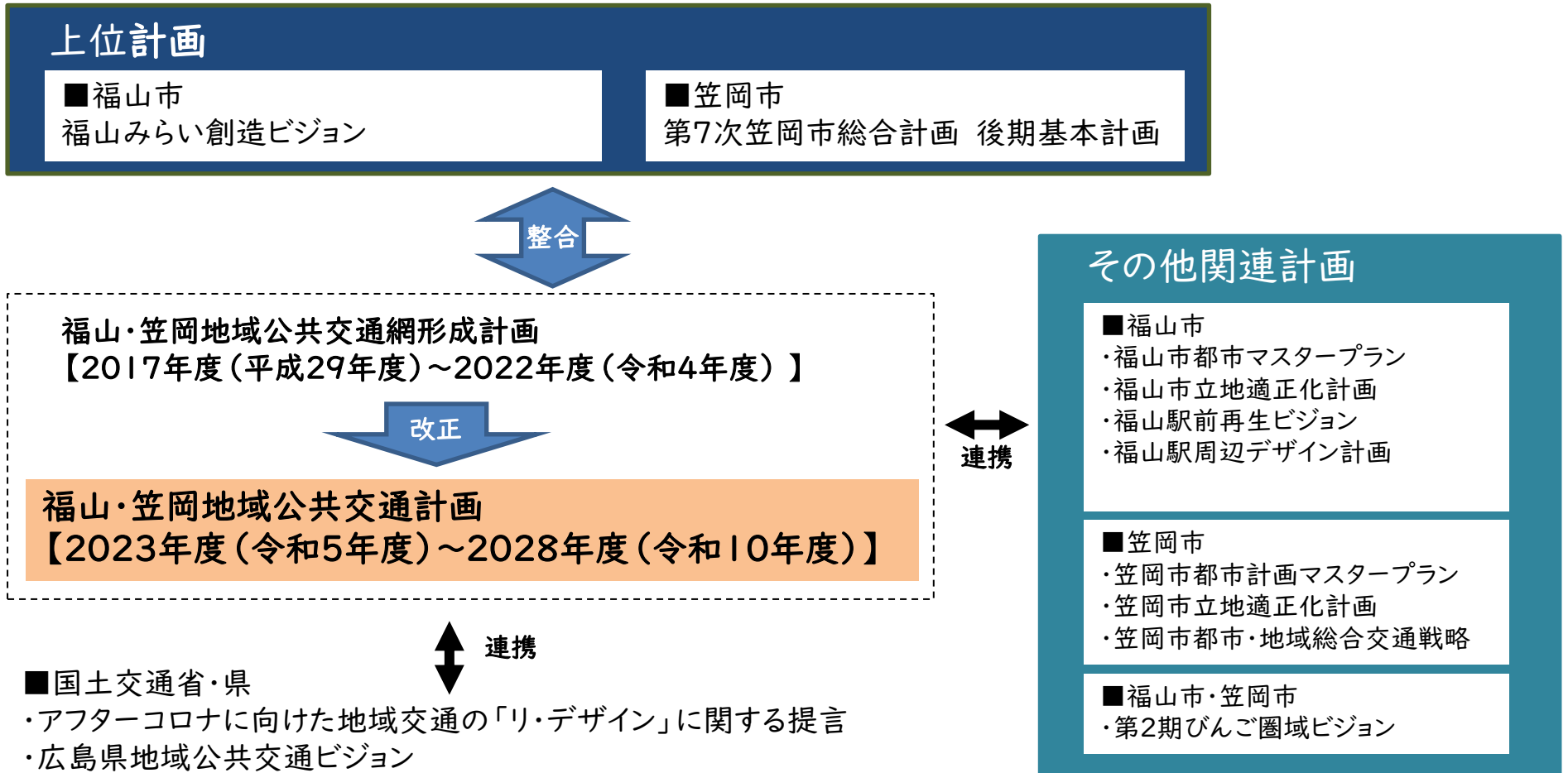
1. 福山・笠岡地域公共交通計画の構成について

【計画の対象区域】 福山市, 笠岡市より構成される福山・笠岡地域とする。

【対象期間】 2023(令和5)年春~2028(令和10)年の5年間を基本とする。

【計画の位置づけ】

- 地域公共交通計画の策定にあたっては、福山市および笠岡市の上位・関連計画との整合・連携を図りつつ作成する。



1. 福山・笠岡地域公共交通計画の構成について

- 個別目標の多くがコロナ禍等の影響もあり未達成な状況。尚、今後その要因についての分析を行う。

【基本方針①】様々な交通の連携強化による効率的で利用しやすい地域公共交通網の構築

個別目標		評価指標		
目標 1-1	市民における交通環境への不満の削減	市民における交通環境の不満割合	現況：2016年度(平成28年度)	21.1%
			目標値：2022年度(令和4年度)	21%以下
			現況：2021年度(令和3年度)	市民アンケートにより調査中
目標 1-2	地域公共交通の利用者数の維持	鉄道、路線バス等、航路の利用者数	現況：2015年度(平成27年度)	21,447千人/年
			目標値：2021年度(令和3年度)	21,500千人/年
			現況：2021年度(令和3年度)	16,618千人/年

【基本方針②】利用者の需要に応じた持続可能な運行(運航)方法への見直し

個別目標		評価指標		
目標 2-1	路線バスの健全化の向上	経常収益率15%未満の系統数	現況：2015年度(平成27年度)	17系統
			目標値：2021年度(令和3年度)	8系統以下
			現況：2021年度(令和3年度)	7系統以下
目標 2-2	公共交通の運行(運航)維持のための市負担額の水準維持	公共交通維持に係る市の負担額	現況：2015年度(平成27年度)	福山市：176,690千円 笠岡市：36,452千円
			目標値：2021年度(令和3年度)	福山市：180,000千円 笠岡市：40,000千円
			現況：2021年度(令和3年度)	福山市：196,175千円 笠岡市：56,122千円

【基本方針③】多様な運行方法による過疎化・高齢化に対応した移動手段の確保

個別目標		評価指標		
目標 3-1	移動制約者における交通環境への不満の削減	免許を持たない市民における交通環境の不満割合	現況：2016年度(平成28年度)	32.7%
			目標値：2022年度(令和4年度)	32%以下
			現況：2021年度(令和3年度)	市民アンケートにより調査中

【基本方針④】多様な関係者と連携した積極的な利用促進施策の推進

個別目標		評価指標		
目標 4-1	地域公共交通の利用者数の維持(※再掲)	鉄道、路線バス等、航路の利用者数	現況：2015年度(平成27年度)	21,447千人/年
			目標値：2021年度(令和3年度)	21,500千人/年
			現況：2021年度(令和3年度)	16,618千人/年
目標 4-2	関係主体による積極的な利用促進活動の推進	市民向けの利用促進活動の実施回数	現況：2016年度(平成28年度)	9回
			目標値：2021年度(令和3年度)	10回
			現況：2021年度(令和3年度)	4回

【計画事業1】

持続可能な地域公共交通ネットワークの構築

- ①路線バスの運行・改善及び再編
- ②地域間交流を促進する公共交通の導入検討
- ③乗合タクシーの運行・改善及び再編
- ④自家用有償旅客運送の運行・改善及び再編
- ⑤住民主導による公共交通導入の仕組みづくり
- ⑥海上交通の運航・改善
- ⑦移動支援に係る制度の推進
- ⑧将来を見据えた新しい移動サービスの研究

【計画事業2】

交通結節点における乗り継ぎ・待合い環境の改善

- ①乗り継ぎ拠点の設置
- ②バス停留所における利用環境整備

【計画事業3】

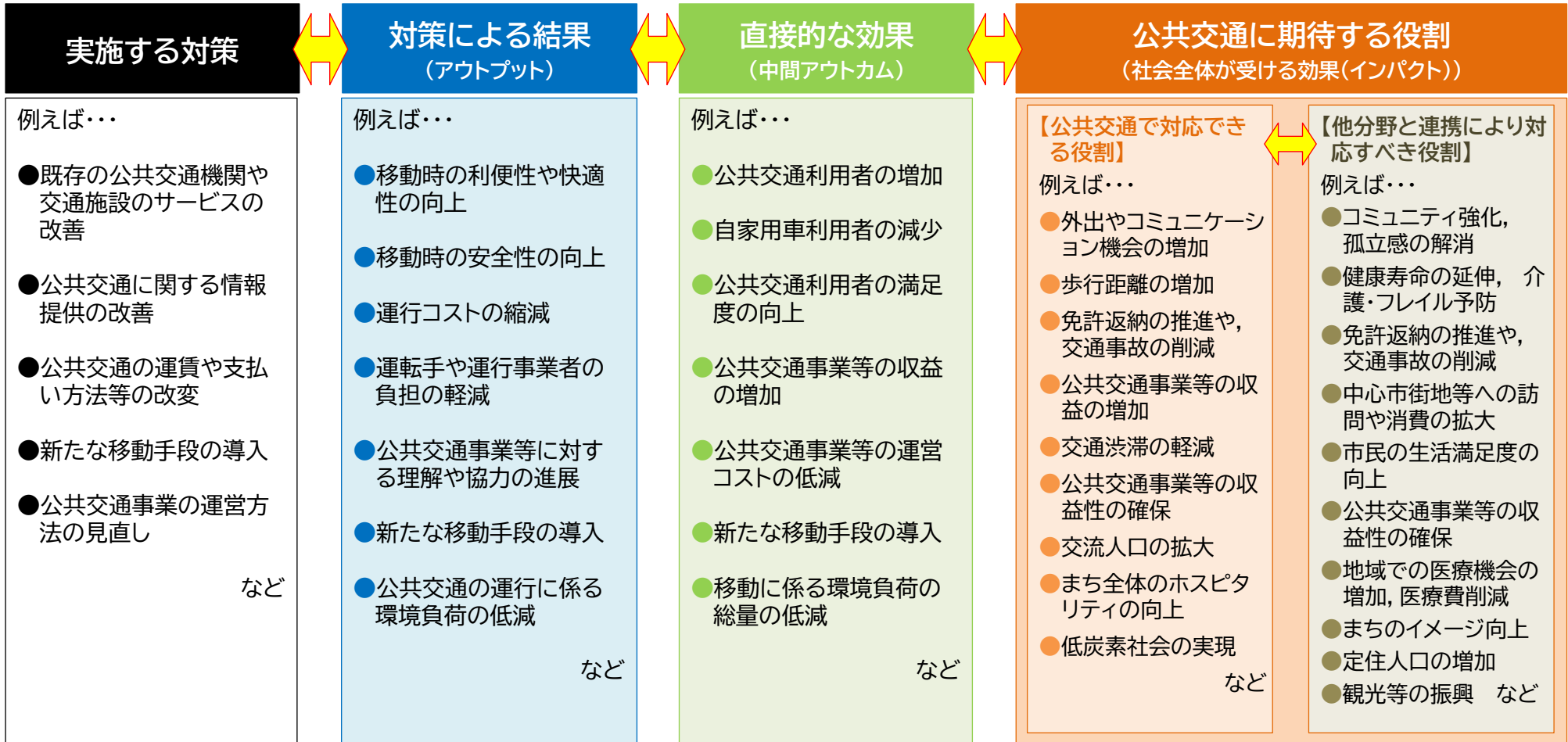
地域公共交通の利用促進施策の推進

- ①公共交通に係る情報提供の推進
- ②公共交通の利用意識の向上
- ③観光目的等での公共交通利用の促進
- ④車両・運賃等に係る取組

1. 福山・笠岡地域公共交通計画の構成について

■地域公共交通の役割

- 地域の目指す将来まちづくりの実現に向けて、公共交通にどのような役割を期待するのかを明確にし、関係者間で認識を共有した上で、具体的な目標や計画内容を検討。



▲ 公共交通に期待する役割と実施する対策とその結果・効果の関係

2. 今後のスケジュール

資料4

- | | | | |
|-----------|-----------|---|---|
| 7月4日(月) | 第1回協議会 | 地域公共交通計画の作成の進め方等について | |
| 11月7日(月) | 第2回福山地域部会 | 福山地域の公共交通の現状・公共交通ネットワークの検討等について | |
| 11月21日(月) | 第2回笠岡地域部会 | 笠岡地域の公共交通の現状・公共交通ネットワークの検討等について | |
| 11月30日(水) | 第2回協議会 | 地域公共交通計画の構成・公共交通の現状と課題等について | |
| 1月27日(金) | 第3回福山地域部会 | ・公共交通の現状と課題の整理
・データ分析等を踏まえた公共交通ネットワークの配置
・具体的な事業の検討 等 | } |
| 1月下旬頃 | 第3回笠岡地域部会 | | |
| 2月17日(金) | 第3回協議会 | | |
| 3月27日(月) | 第4回協議会 | ・目標達成状況の評価
・地域公共交通計画骨子案について | } |

パブリックコメントや広島県地域公共交通ビジョン等を踏まえて、地域公共交通計画案を取りまとめ

(参考) 国・県の動向

- | | |
|-----------|---|
| 令和4年5月12日 | 第1回 広島県地域公共交通協議会 |
| 令和4年8月26日 | 国の有識者検討会:アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」に関する提言 |
| 令和4年9月5日 | 第2回 広島県地域公共交通協議会 |
| 令和5年3月頃 | 広島県地域公共交通ビジョンの骨子案作成 |

『福山・笠岡地域公共交通計画』策定に向けた検討

参考資料①

(福山部会資料 + 笠岡部会資料)

2022年（令和4年）11月30日

福山市・笠岡市

目次

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について
2. 公共交通ネットワークの検討について
3. 本年度実施する調査について
 - (1) 調査概要
 - (2) 路線バス実態調査結果
 - (3) 交通事業者ヒアリング等調査結果
4. 交通事業者からの話題提供

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・対象地域の人口は、福山市46.1万人、笠岡市4.6万人の計50.7万人となっている。
- ・福山市は2015年（平成27年）まで増加傾向で推移してきたが、2020年(令和2年)にかけて減少に転じている。笠岡市は長期的に減少傾向が続いている。また、両市とも将来にかけて減少傾向が続くものと見込まれている。

■人口

表 地域の概況

	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	DID			
				面積 (km ²)	人口 (人)	面積比率 (%)	人口比率 (%)
	C	D	C/A×100	D/B×100			
福山市	517.72	460,930	890.31	59.9	264,631	11.6	57.4
笠岡市	136.24	46,088	338.29	2.6	9,296	1.9	20.2
計	653.96	507,018	775.30	62.5	273,927	9.6	54.0

出典：国勢調査

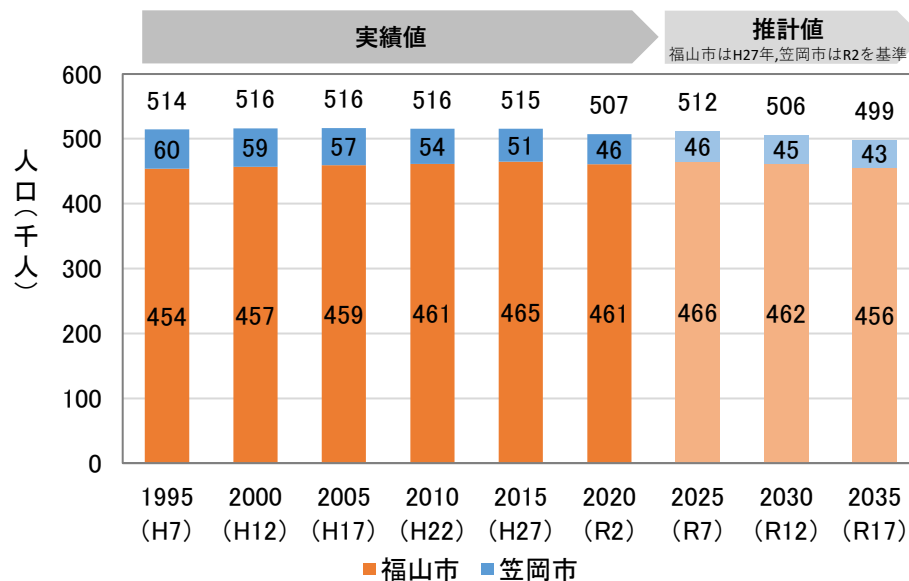


図 人口の推移と将来見通し

出典：国勢調査

福山みらい創造ビジョン（2021.3）、
笠岡市都市計画マスタープラン（R4.3改訂）

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・人口構成比の推移をみると、両市とも少子高齢化が進行しており、笠岡市では老年人口の比率が37%に達している。年少人口の構成比は年々減少傾向となっており、公共交通の通学利用においても減少していくことが推察される。

■人口構成比

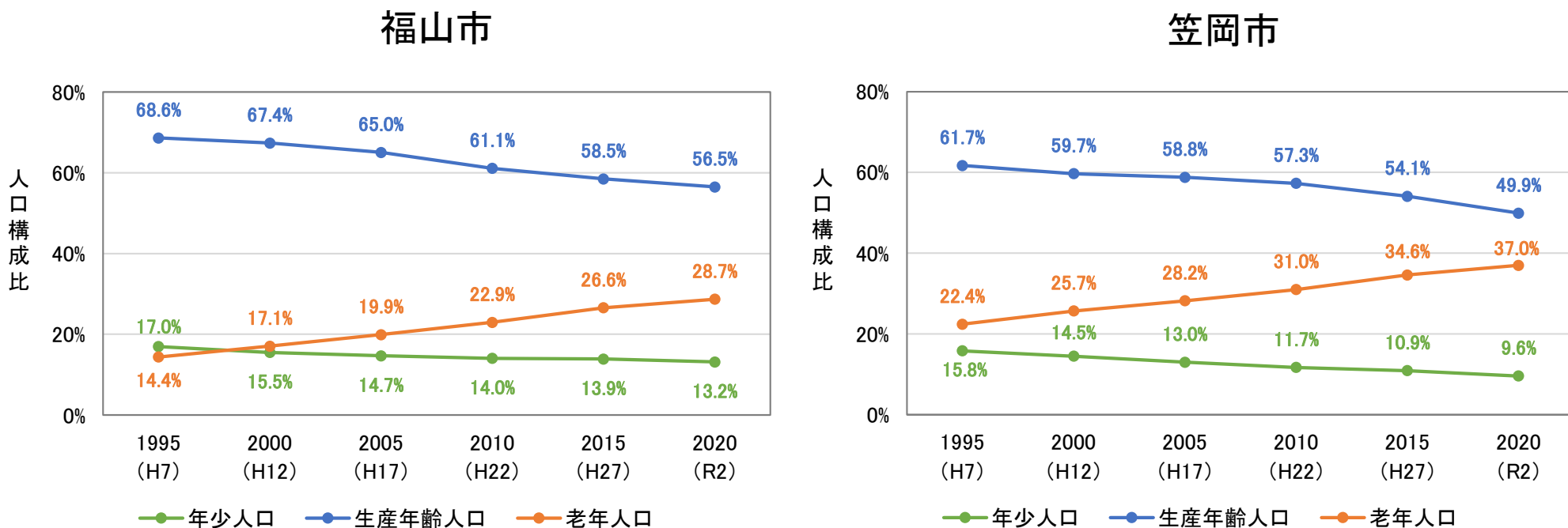


図 人口構成比の推移

※各年齢階層人口を年齢不詳を含む総人口で除して算出

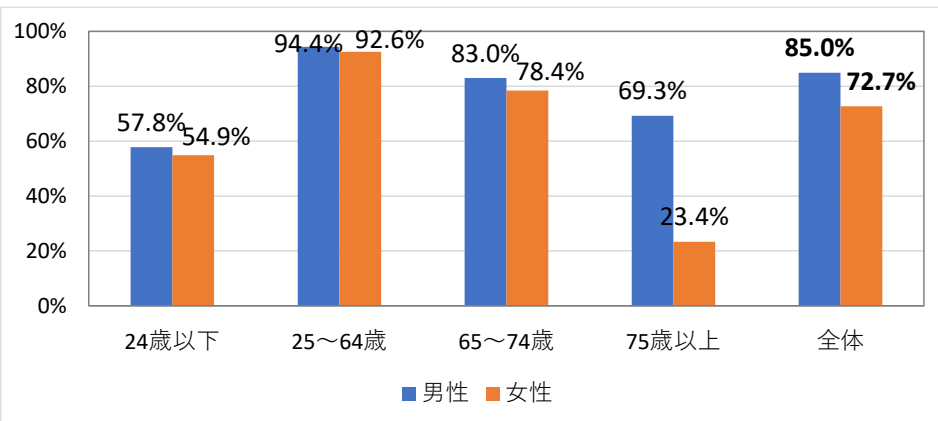
出典：国勢調査

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・年齢階層別に運転免許保有率をみると、市全体では両市とも男性85%前後、女性70%前後の人が運転免許を保有している。75歳以上の年代に着目すると、男性は約70%と保有率が高いが、女性は約20%と低く、自らの運転で移動できない状況と考えられ、移動の制約が大きいと考えられる。

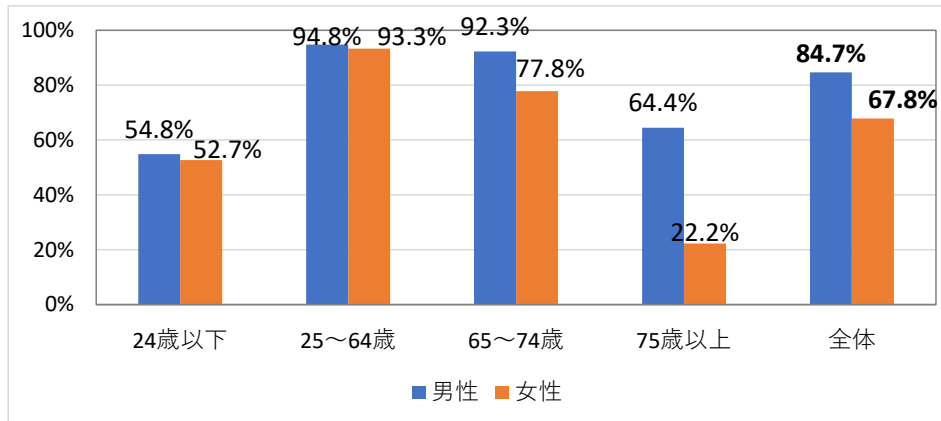
■運転免許保有率

【福山市】



	男性			女性		
	免許保有者数	人口	免許保有率	免許保有者数	人口	免許保有率
24歳以下	12,508	21,624	57.8%	10,965	19,984	54.9%
25~64歳	107,167	113,565	94.4%	102,849	111,049	92.6%
65~74歳	28,500	34,327	83.0%	24,672	31,458	78.4%
75歳以上	18,430	26,598	69.3%	9,631	41,217	23.4%
全体	166,605	196,114	85.0%	148,117	203,708	72.7%

【笠岡市】



	男性			女性		
	免許保有者数	人口	免許保有率	免許保有者数	人口	免許保有率
24歳以下	1,132	2,066	54.8%	983	1,867	52.7%
25~64歳	9,857	10,400	94.8%	9,469	10,150	93.3%
65~74歳	3,555	3,852	92.3%	3,072	3,947	77.8%
75歳以上	2,306	3,578	64.4%	1,312	5,902	22.2%
全体	16,850	19,896	84.7%	14,836	21,866	67.8%

図 年齢階層別運転免許保有率

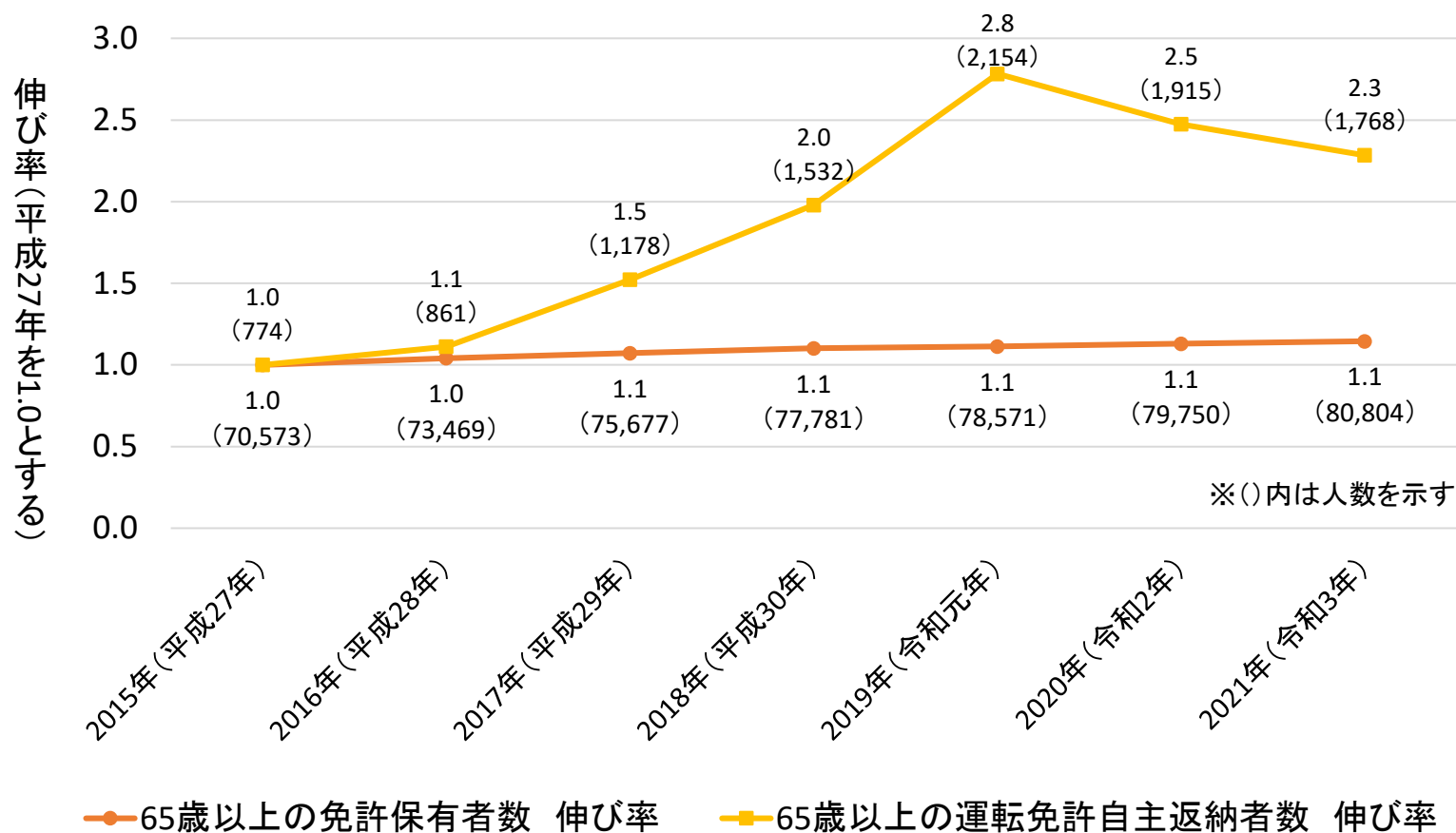
※免許保有率＝免許保有者数（福山市R4.7月末,笠岡市R3.12月末）/当該年齢階層人口（福山市R3.3月末,笠岡市R3.12月末）
24歳以下の免許保有者数は16歳以上、人口は福山市16歳以上、笠岡市15歳以上

出典：（免許保有者数）広島県警、岡山県 / （人口）住民基本台帳

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- 福山市の65歳以上の免許保有者数は微増傾向にある一方、運転免許自主返納状況は近年はコロナ禍の影響を受けて減少しているものの、増加傾向となっており、今後も65歳以上の運転免許自主返納が進むことが予想されるなかで高齢者の移動手段の確保が必要な状況にある。

■福山市の運転免許自主返納状況



1. 笠岡地域の公共交通の現状について

- ・ 運転免許証の返納状況は、コロナ禍の状況もあり2021（令和2）年以降減少傾向にある。
- ・ また、免許返納者のうち75歳以上が半数以上を占めており、今後も高齢化が進む中で運転免許証を返納した高齢者の移動手段の確保が必要である。

■ 笠岡市の運転免許証自主返納状況

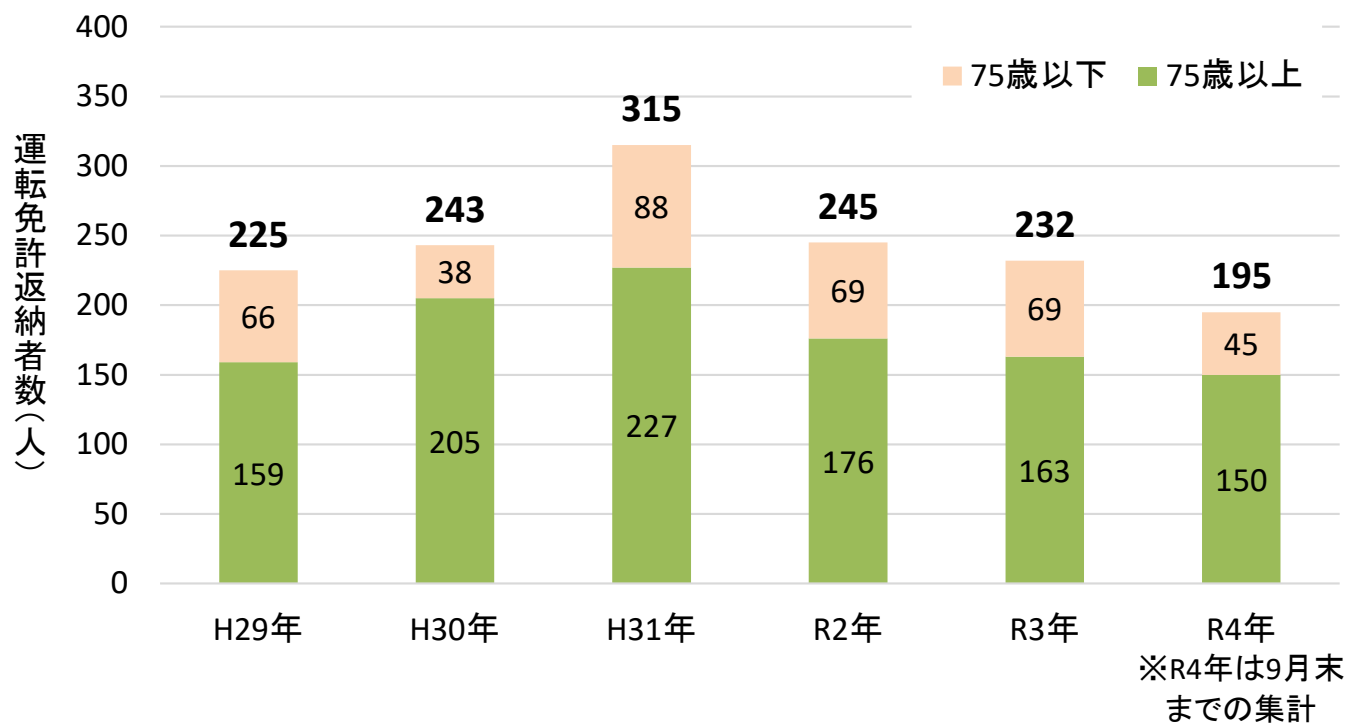
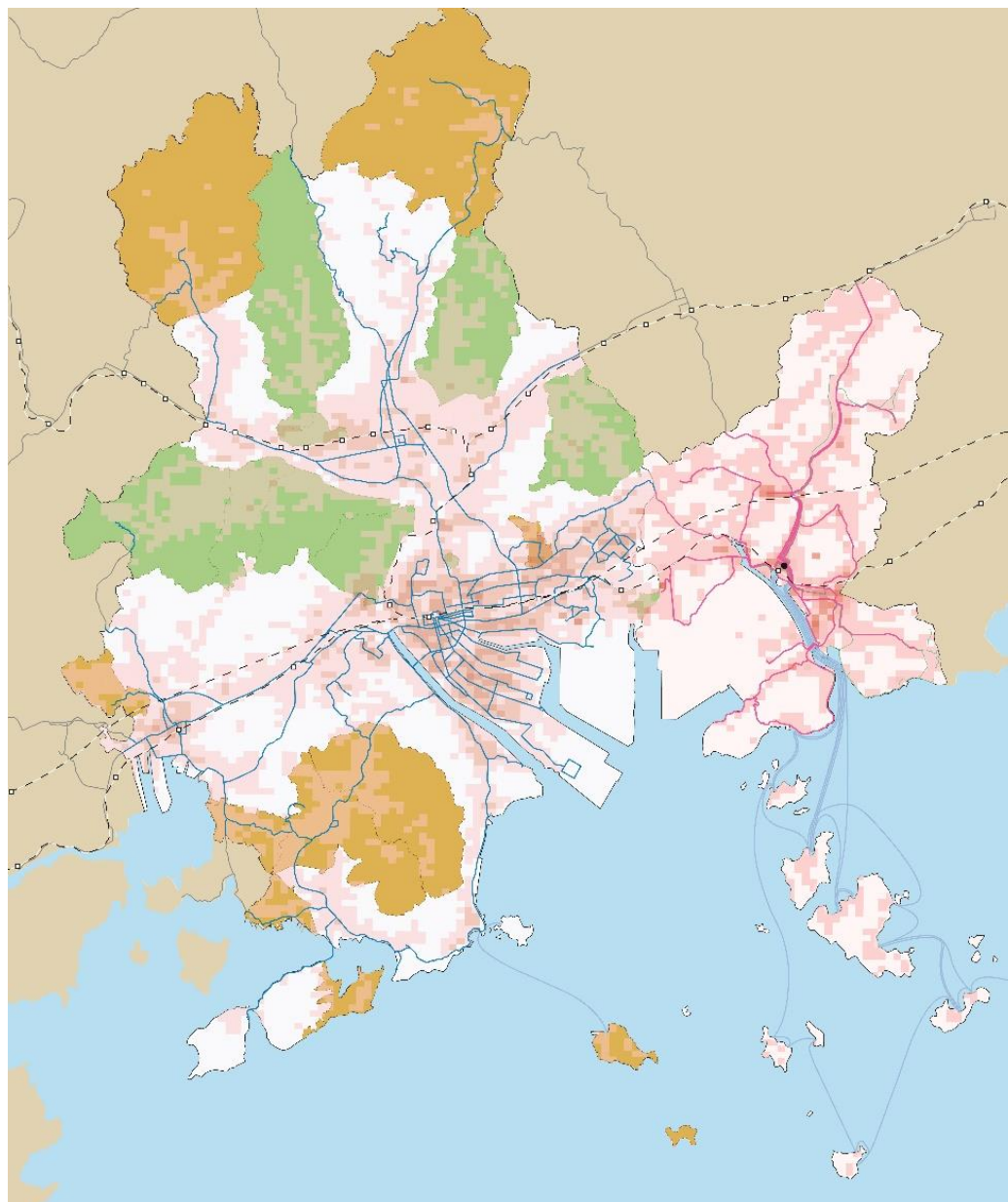


図 運転免許証自主返納状況

資料：岡山県警

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- 対象地域では、図に示すように、陸上交通、海上交通の多様な手段が連携する形で、公共交通体系が形成されている。
- 交通需要が少ない地域においては、乗合タクシー、自家用有償輸送といった交通手段も導入。



※尚、笠岡市内では、普通運転免許を保有していない75歳以上の方を対象に、高齢者タクシー料金助成事業により、助成券を配布し、市内在住高齢者の外出を支援。

また、高齢者のみの世帯の要支援者等を対象に、講習を受けた住民のサポーターが、簡単な家事や病院や買い物への車での移動と付き添いを行い、要支援者等の移動も含めた支援を実施。

図 対象地域の公共交通の路線図

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・ 鉄道の利用者数をみると、2000年（平成12年）以降は多少の増減はあるものの横ばいで推移していたが、近年はコロナ禍における影響等により、大きく減少している。

■ 鉄道の利用状況

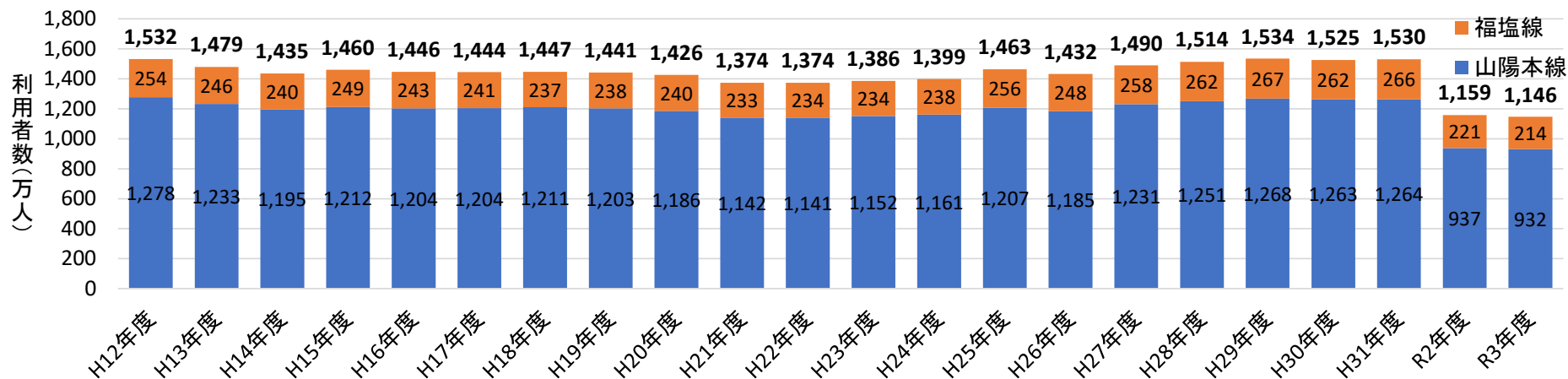


図 福山市内のJRの利用状況

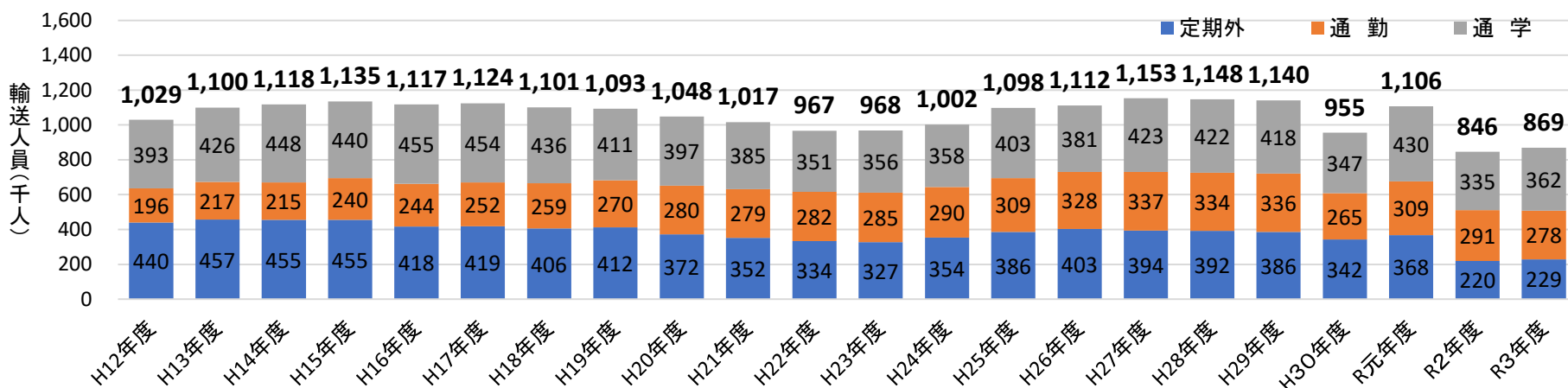


図 福山市内の井原鉄道の利用状況

資料：福山市

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・ 鉄道は J R 山陽本線が東西に走っており、市内には笠岡駅 1 駅が設置されています。
- 2019年（令和元年）度の笠岡駅の1日あたり利用者数は3,376人/日でしたが、2020年（令和2年）度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により約2割減少となっています。

■ 鉄道の利用状況

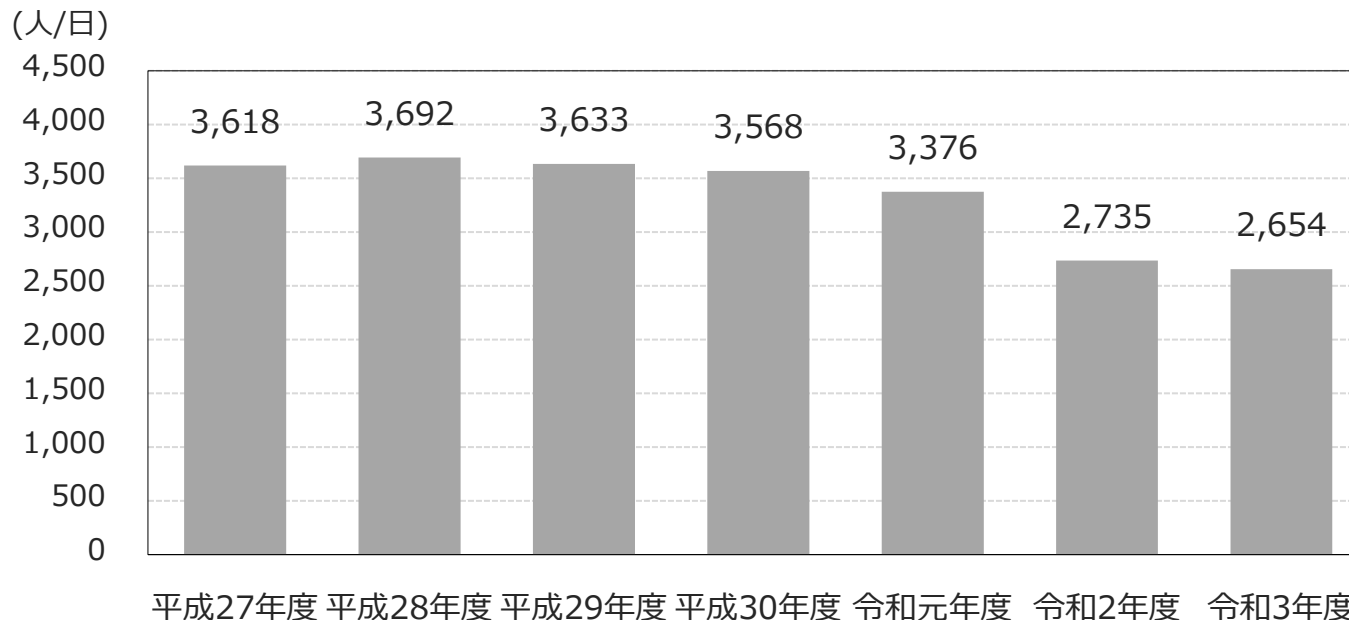


図 笠岡駅の利用者数の推移

資料：笠岡市

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・路線バスの利用者数をみると、両市ともに減少傾向となっており、特に2020年（令和2年）度はコロナ禍の影響で大幅に減少している。

■ 路線バスの利用状況

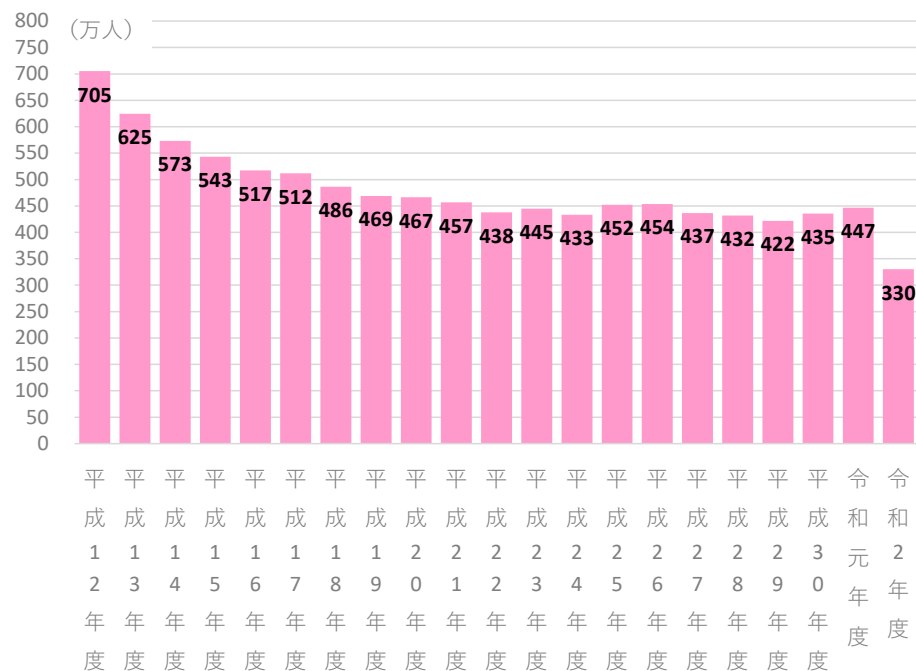


図 福山市の路線バス利用者数の推移

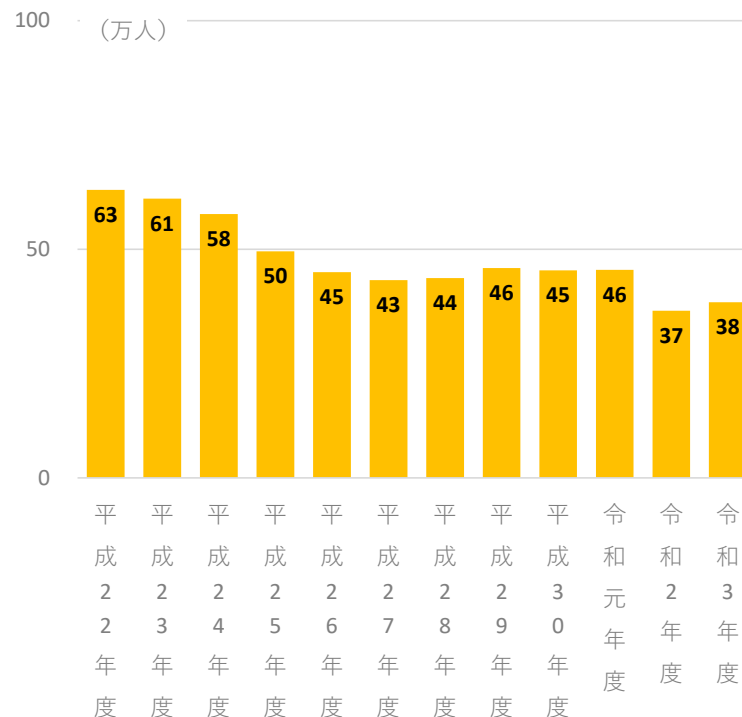


図 笠岡市の路線バス利用者数の推移

資料：各交通事業者

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

・バス・タクシー等の自動車運転の職業の求人倍率は全職種平均と比較しても高く、ドライバーが不足している現状であるとともに、ドライバーの高齢化も進んでいる。

■ドライバー不足の現状

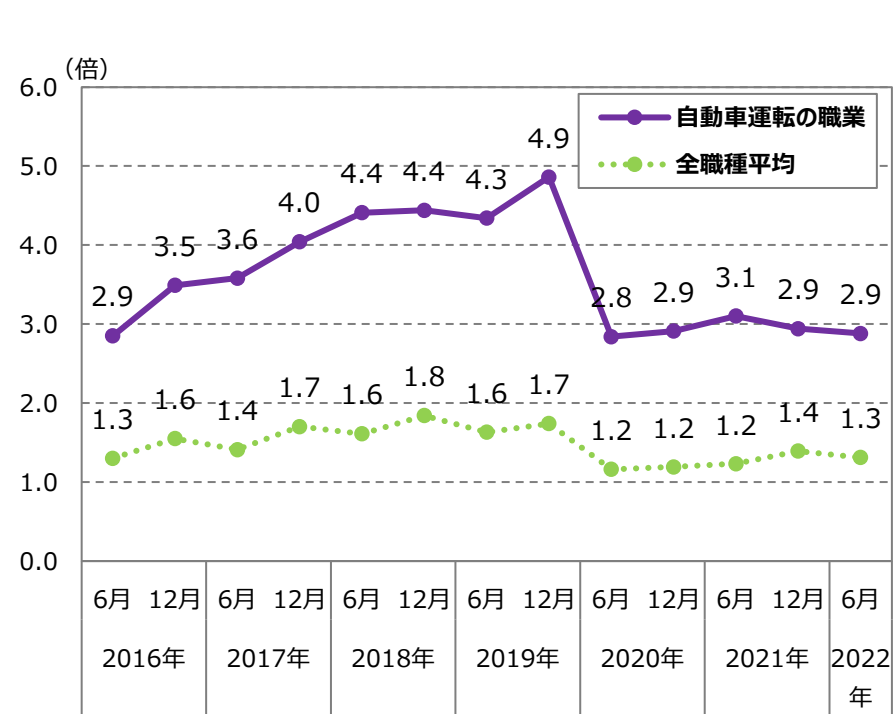


図 広島県内の有効求人倍率の推移
(バス・タクシー等の自動車運転及び全職業平均)

資料：広島労働局「職業別有効求人・求職及び賃金の状況」

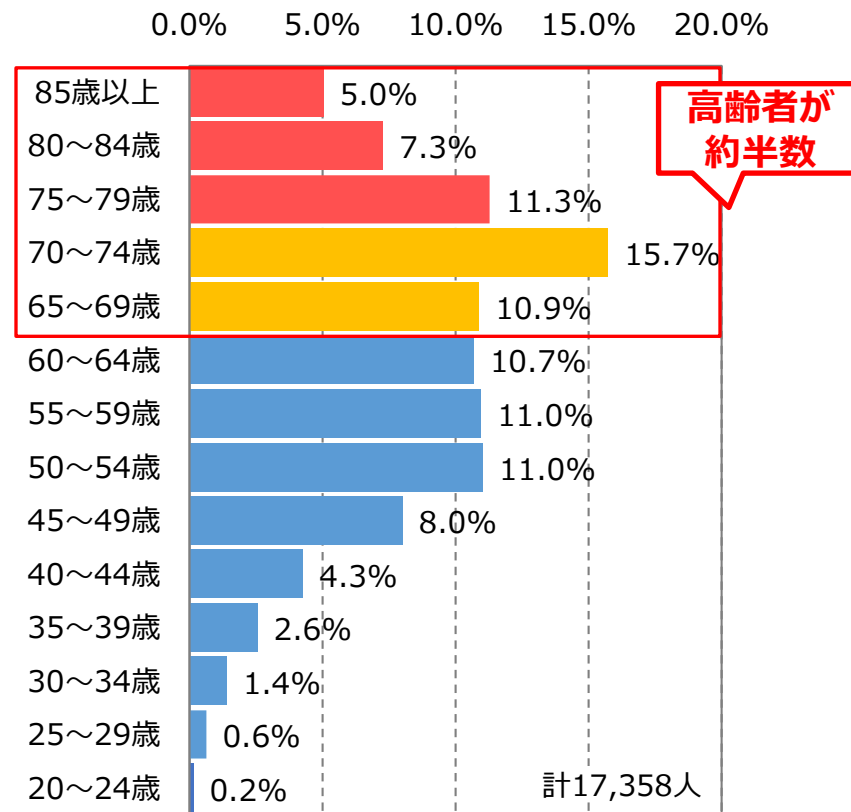


図 広島県内の大型二種免許保有者数（2021年）

出典：警察庁「運転免許統計」

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

・バス・タクシー等の自動車運転の職業の求人倍率は全職種平均と比較しても高く、ドライバーが不足している現状であるとともに、ドライバーの高齢化も進んでいる。

■ドライバー不足の現状

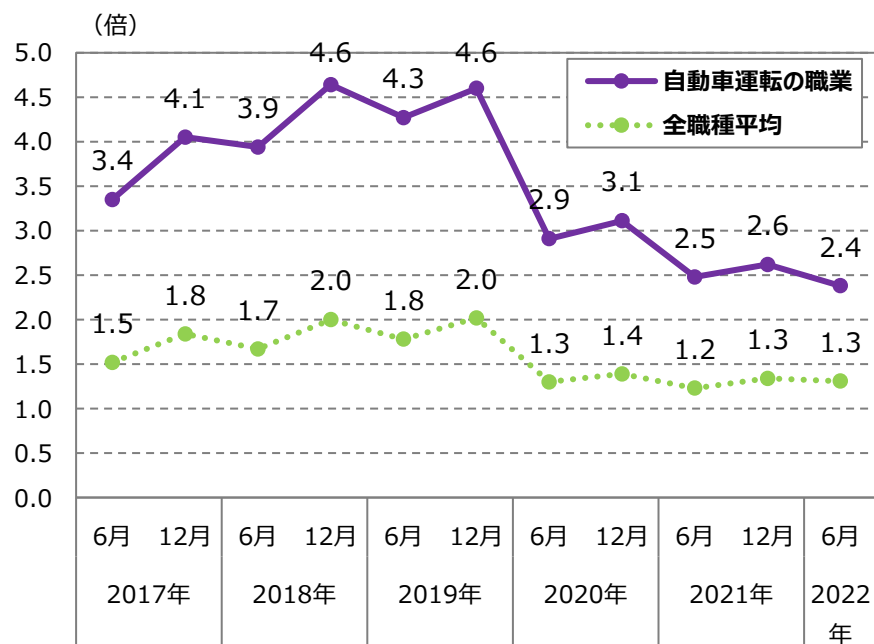


図 岡山県内の有効求人倍率の推移
(バス・タクシー等の自動車運転及び全職業平均)

資料：岡山労働局「職業別有効求人・求職及び賃金の状況」

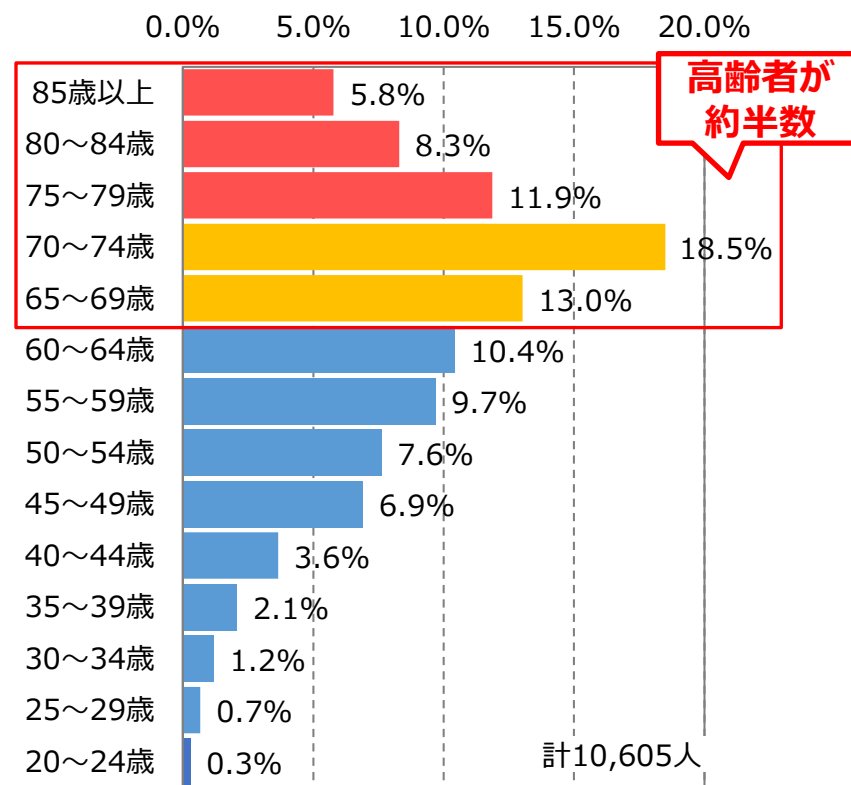


図 岡山県内の大型二種免許保有者数 (2021年)

資料：警察庁「運転免許統計」

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・福山市では、7地区でオンデマンド（予約式）乗合タクシーの運行を行っており、いずれの地域も1便あたり1.0人を超える運行となっている。

■オンデマンド(予約式)乗合タクシー

図 オンデマンド（予約式）乗合タクシー利用者数

	中条地区	竹尋地区	服部地区 (弥生ヶ丘 含む)	緑陽地区	芦田地区 (宜山・福 相・有磨)	大門地区 (野々浜)	郷分地区 (泉)
運行開始	2013/10/1~	2013/10/1~	2019/10/1~	2019/11/3~	2020/10/1~	2021/10/1~	2021/10/1~
運行日	火~土 (祝除く)	月, 水, 金	月~土 (祝除く)	火, 木, 土	月~土 (祝除く)	月~土 (祝除く)	月~土 (祝除く)
便数(便/日)	4	4	6	4	6	4	4
延べ利用者数	5,389	12,685	2,618	341	926	116	28
運行日数(日)	1,213	1,819	632	112	334	55	17
運行便数(便)	2,674	4,174	1,822	222	770	108	21
1日あたり利用者数(人)	4.4	7.0	4.1	3.0	2.8	2.1	1.6
1便あたり利用者数(人)	2.0	3.0	1.4	1.5	1.2	1.1	1.3

※集計期間開始日と運行開始日の遅い方から、集計期間終了日までを集計資料:福山市

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・笠岡市では、路線バスの撤退した地域へデマンドバスの運行を行っている。2017年（平成29年）度に利用者数は落ち込んだものの、その後増加傾向になっている。

■ 笠岡市のデマンドバス

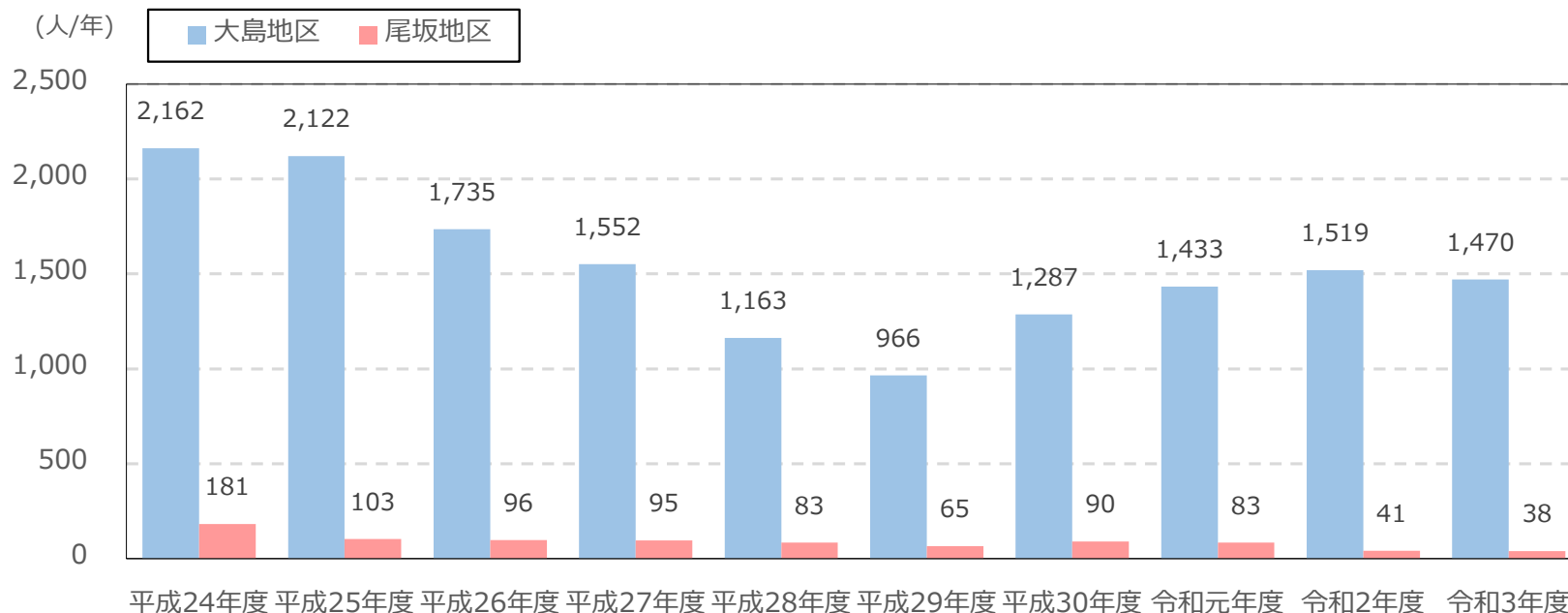


図 デマンドバス利用者数の推移（笠岡市）

※前年10月1日～9月30日までの1年間

資料：井笠バスカンパニー

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・笠岡市の北木島では、自家用有償運送を行っており、近年はグリーンスローモビリティの導入を行う等、NPO法人を中心に新たな事業にも着手している。

■自家用有償運送

図 北木島 コミュニティバス・予約制タクシーの利用者数

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
コミュニティバス 利用者数 (人)	728	649	677	515	421	422	259
予約制 タクシー 利用者数 (人)	-	-	-	-	-	-	1,461

※予約制タクシーは令和3年7月から運行開始
コミュニティバスは令和3年7月から運行日を月・水・金から金曜のみ

コミュニティバス



運行日 金曜日のみ
(1日3便)



資料：NPO法人かさおか島づくり海社

利用料金

(コミュニティバス・予約制タクシー共通料金)

同一区域内100円
区域間(北西部⇔南東部同)200円
島内の65歳以上無料(身分証提示)

予約制タクシー(前日までの予約)
運行日 毎日 8月13日から16日、
年末年始を除く

- 登録車両 3台
- ・普通車7人乗り
 - ・軽自動車4人乗り
 - ・グリーンスローモビリティ



1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・福山市では、走島汽船により鞆港から走島を連絡するフェリーが運航されている。運航本数は1日に5往復であり、所要時間は約30分である。
- ・走島航路の利用者数は減少傾向が続いている。

■ 走島航路

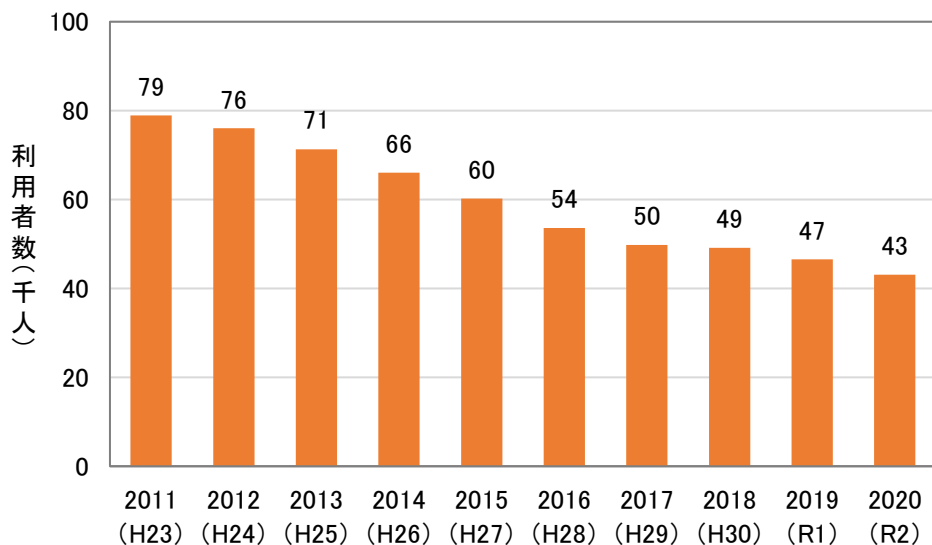


図 走島航路利用者数の推移（福山市）

出典：走島汽船



図 走島航路の運航本数



図 運航するフェリー船

資料：走島汽船ホームページ

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- 笠岡諸島関連の海上交通には旅客船とフェリーがあり、笠岡港（住吉）から旅客船（三洋汽船）が、笠岡港（伏越）からフェリー（三洋汽船、笠岡フェリー、瀬戸内クルージング）が運航している。人口規模の大きい白石島、北木島へは旅客船とフェリーの両方が運航しているが、高島、真鍋島、大飛島、小飛島、六島へは旅客船のみの運航となっている。

■ 笠岡諸島の航路

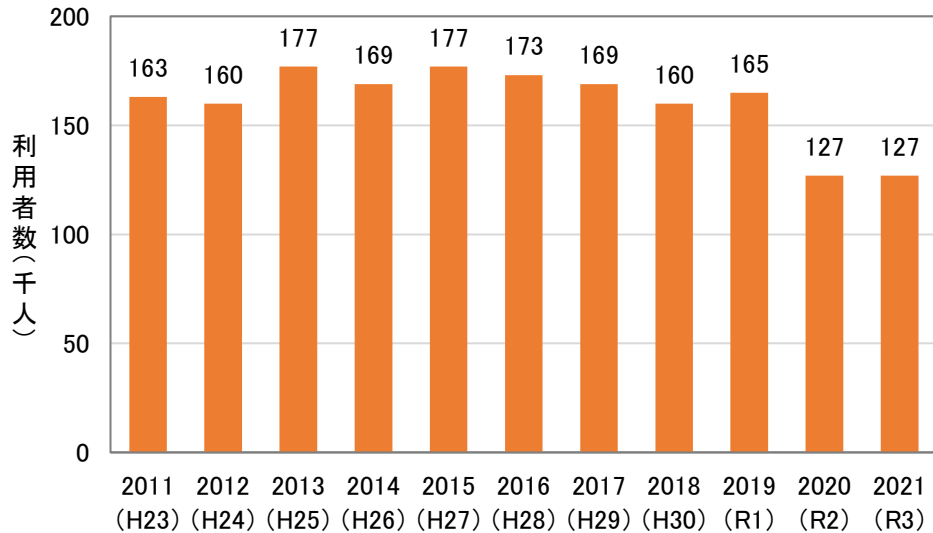


図 旅客船利用者数の推移（笠岡市）

資料：各航路事業者



図 笠岡諸島の航路

資料：笠岡市ホームページ

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・福山市の陸上交通の補助金額は、近年増加傾向にあったものの、2020年（令和2年）はコロナウイルス感染症の流行により大きく増加している。また、海上交通の利用者数は減少傾向にある一方で、補助金額は横這いで推移している。

■補助金額の推移

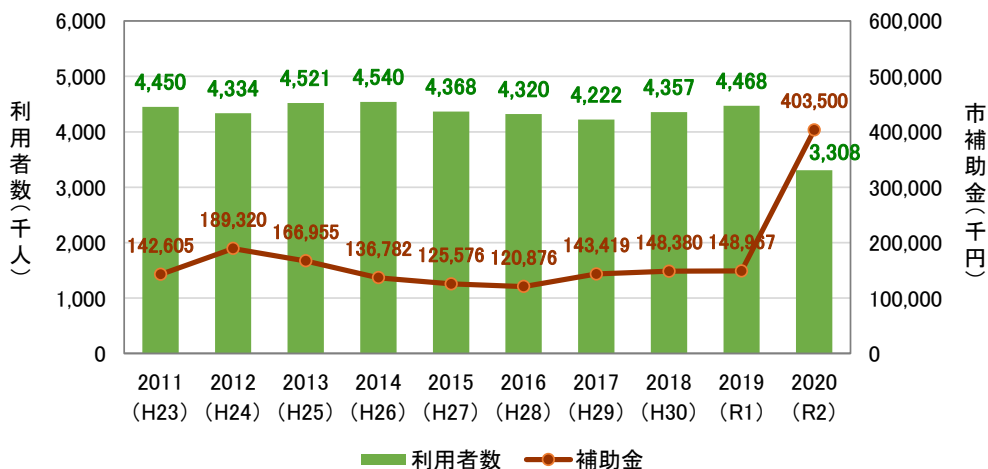


図 公共交通への補助金の推移
(福山市：陸上交通)

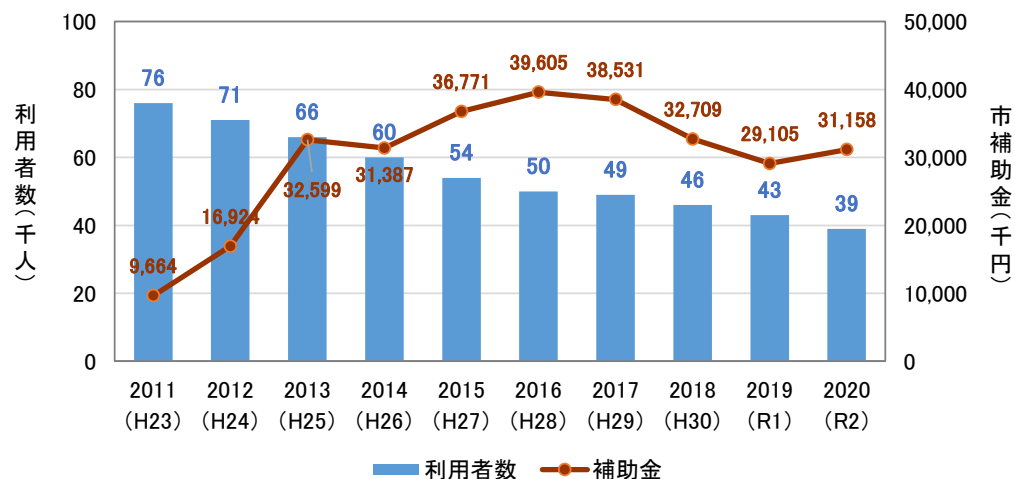


図 公共交通への補助金の推移
(福山市：海上交通)

※2020年度(令和2年度)は、公共交通事業者支援のため実施した「バス運行費補助金の要件緩和措置」、
「タクシー事業運行維持奨励金」、 「衛生用品等整備費補助金」を含む。

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

- ・笠岡市内の陸上交通は、利用者数が横這いに推移している一方で、2021（令和3）年を除き補助金額は増加傾向に推移している。また海上交通においても、利用数は横ばいに推移しているものの近年は特に補助金額は増加傾向で推移している。

■補助金額の推移

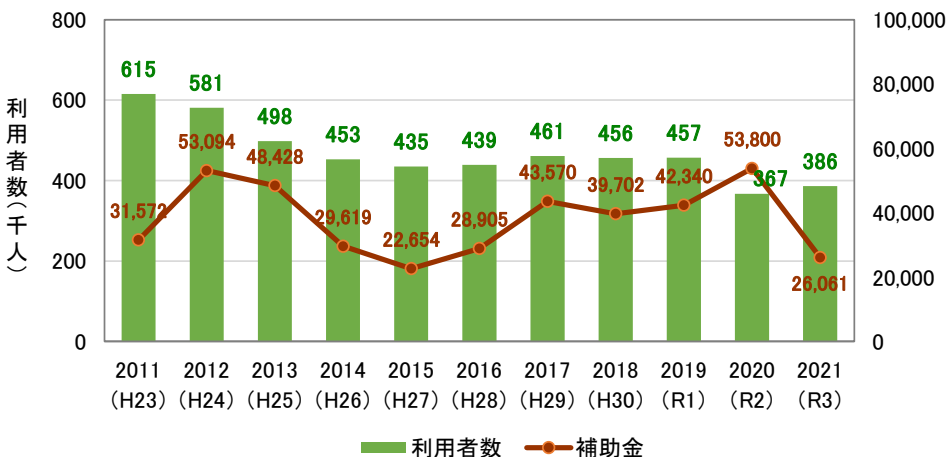


図 公共交通への補助金の推移
(笠岡市：陸上交通)

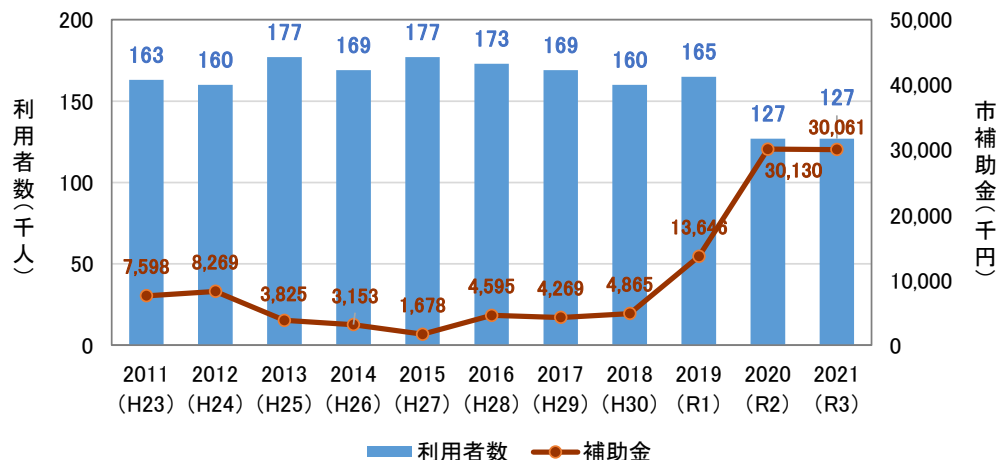


図 公共交通への補助金の推移
(笠岡市：海上交通)

※2020年度は、コロナ禍でも運行を継続している公共交通事業者支援のため実施した、「バス運行費補助金の要件緩和」, 「タクシー事業運行維持奨励金」, 「衛生用品等整備費補助金」を含む。

1. 福山・笠岡地域の公共交通の現状について

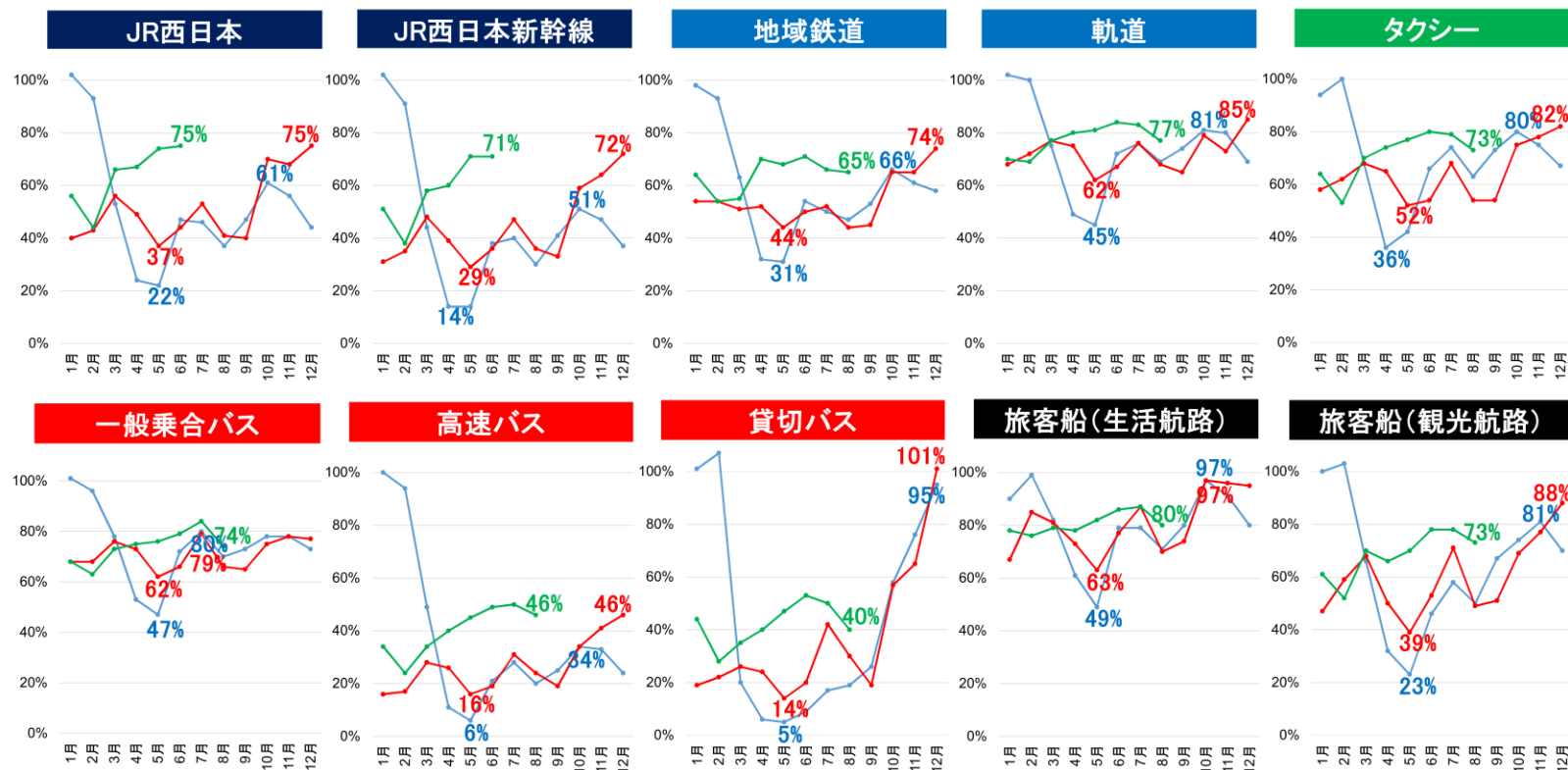
- ・新型コロナウイルス感染症の流行は、公共交通事業者へ大きな影響を与えており、輸送収入の減少により公共交通の存続に影響を与えている。

中国運輸局管内の状況(新型コロナウイルス感染症関連)



運送収入(令和元年同月比)

青線: R2/R元 赤線: R3/R元 緑線: R4/R元



※1:各事業者団体等調査結果より集計。(一部特異なデータは除外)

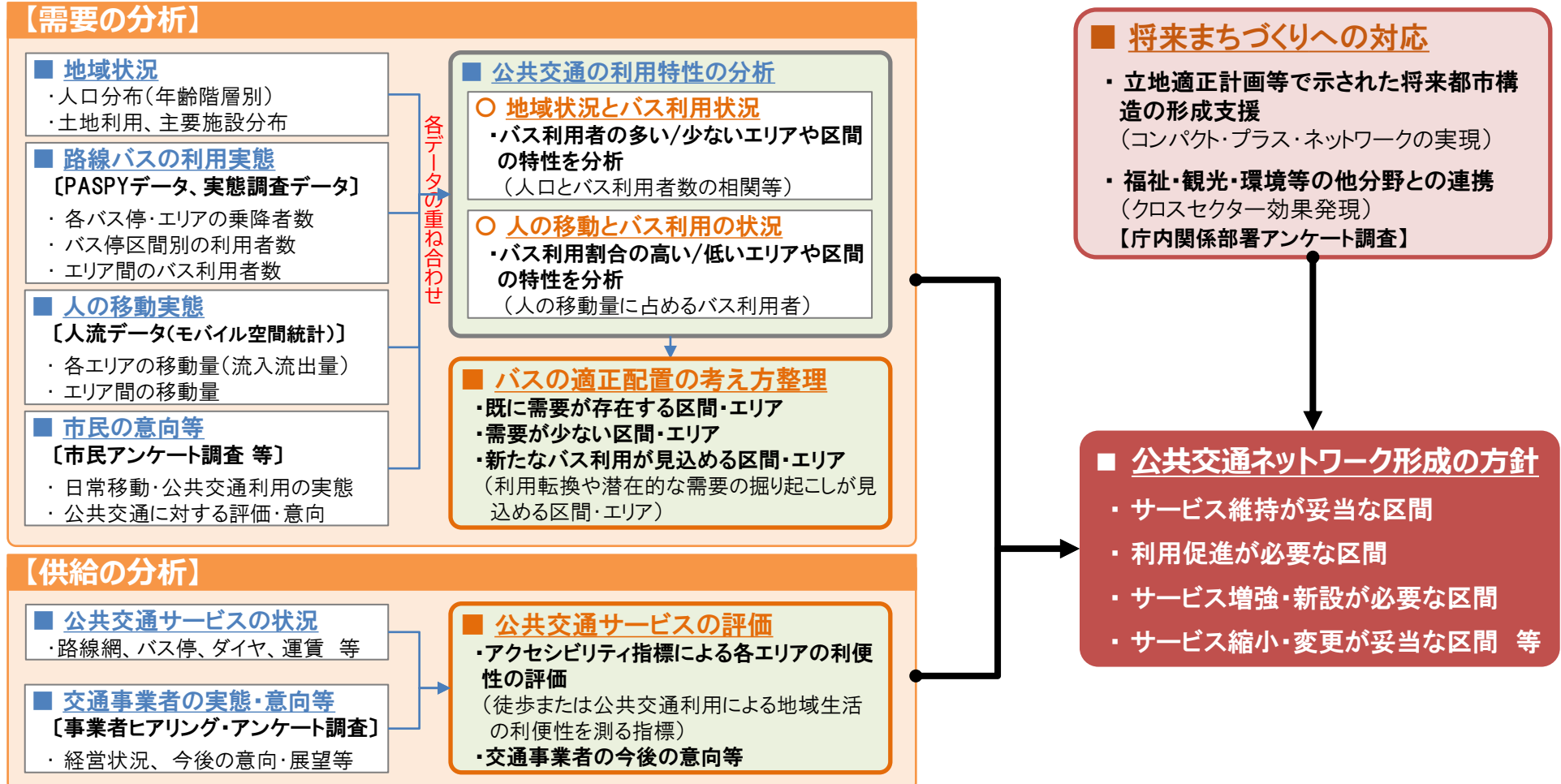
※2:JR西日本及びJR西日本新幹線の運送収入は広島支社のデータに基づいて集計。

※3:調査対象事業者:地域鉄道6社、軌道4社、一般乗合バス28社、高速バス19社、貸切バス7社、タクシー27社、旅客船80社

2. 公共交通ネットワークの検討について

需要と供給の詳細分析と望ましいネットワークの配置検討

- 地域特性や移動ニーズ、拠点連絡等に配慮し、各種の公共交通を適材適所に配置しながら、将来まちづくりに対応した望ましい公共交通ネットワークの配置方針を検討。



▲データを活用した需要・供給分析と将来まちづくりへの対応を踏まえた公共交通ネットワーク形成の方針検討の流れ

3. 本年度実施する調査について (①調査概要)

- ・本年度は、次の実態調査を実施することで、福山・笠岡エリアにおける公共交通の利用実態を把握します。

■調査の概要

実施調査	概要
① 路線バス実態調査	○笠岡市内全便(PASPYが使用可能な路線を除く) 平日:9/7(水) 休日:9/4(日)実施済 ○福山市内路線等についてはPASPYデータによる調査を実施 (2019年6~7月, 2022年6~7月の4カ月分入手済) ⇒本日、進捗報告
② 市民アンケート調査	○郵送による配布, 回収 (QRコードを添付しweb回答も受付する) 5,500票配布予定(福山市:4,500票, 笠岡市:1,000票)【調査実施中】
③ 交通事業者ヒアリング等調査	○路線バス, 航路事業者等ヒアリング調査 17事業者へのヒアリング調査を実施済 ⇒本日、進捗報告 ○タクシー事業者アンケート調査(郵送配布・回収):31団体【調査実施中】
④ 庁内関係部署アンケート調査	○福山市, 笠岡市の関係部署を対象として, 庁内メール等を活用して調査票を配布, 回収【調査実施中】

3. 本年度実施する調査について（①路線バス実態調査）

- ・平日のバス停別乗降者数は、福山駅が約5,000人と最も多く、次いで、明王台センターが約400人となっている。
- ・休日のバス乗降客数は、福山駅が約2,000人と最も多く、次いで、新橋が約200人となっている。
- ・今後は、人口メッシュや施設データ等の重ね合わせを行うことで、公共交通の使われ方について詳細な分析を進めていきます。

■ 平日

NO	バス停名称	平均乗降者数（人/日）
1	福山駅前	5150
2	明王台センター	423
3	新橋	250
4	野上町	248
5	商業高校入口	209
6	鞆の浦	190
7	松永駅南口	185
8	霞町	173
9	暁の星	172
10	水呑小学校入口	157

■ 休日（土日祝）

NO	バス停名称	平均乗降者数（人/日）
1	福山駅前	2082
2	新橋	207
3	鞆の浦	164
4	鞆港	121
5	福山駅北口	94
6	野上町	93
7	明王台センター	71
8	商業高校入口	61
9	葛城	56
10	伊勢丘三丁目	49

3. 本年度実施する調査について（①路線バス実態調査）

- ・平日のバス停別乗降者数は、笠岡駅が約470人と最も多く、次いで、笠高入口が約120人となっている。
- ・休日のバス乗降客数は、笠岡駅が約180人と最も多く、次いで、笠岡市役所前が約30人となっている

■平日

NO	バス停名称	平均乗降者数（人/日）
1	笠岡駅前	472
2	笠高入口	115
3	くじば	107
4	笠岡市役所前	98
5	追分	61
6	養護学校前	45
7	美の浜バスターミナル	41
8	吉田小学校前	24
9	藤曲り	20
10	大島小学校	18

■休日（土日祝）

NO	バス停名称	平均乗降者数（人/日）
1	笠岡駅前	177
2	笠岡市役所前	34
3	追分	27
4	笠高入口	19
5	カブトガニ博物館	12
6	大井小学校前	11
7	美の浜バスターミナル	9
8	市民会館竹喬美術館前	9
9	吉田小学校前	7
10	春日台団地	7

3. 本年度実施する調査について（①路線バス実態調査）

- ・平日の乗降バス停別乗降客数は、福山駅と明王台センターの往復が最も多い。
- ・休日の乗降バス停別乗降客数は、新橋⇒福山駅が最も多く、次いで、福山駅⇒鞆の浦となっている。
- ・今後は、人流データ等との比較行うことで、現在の地域内外の移動状況と、その中での公共交通の使い方について詳細に分析を行っていきます。

■ 平日

NO	乗車バス停名	降車バス停名	平均乗降者数（人/日）
1	福山駅前	明王台センター	207
2	明王台センター	福山駅前	118
3	福山駅前	野上町	93
4	新橋	福山駅前	87
5	明王台中	福山駅前	85
6	福山駅前	商業高校入口	85
7	福山駅前	暁の星	81
8	商業高校入口	福山駅前	81
9	福山駅前	鞆の浦	68
10	福山医療センター	福山駅前	63

■ 休日（土日祝）

NO	乗車バス停名	降車バス停名	平均乗降者数（人/日）
1	新橋	福山駅前	85
2	福山駅前	鞆の浦	74
3	鞆の浦	福山駅前	61
4	鞆港	福山駅前	52
5	福山駅前	鞆港	48
6	福山駅北口	新橋	44
7	新市駅前	新市駅前	42
8	福山駅前	野上町	38
9	福山駅前	明王台センター	32
10	明王台センター	福山駅前	29

3. 本年度実施する調査について (①路線バス実態調査)

- ・平日の乗降バス停別乗降客数は、笠岡駅と井原方面（市外）の往復が最も多い。
- ・休日の乗降バス停別乗降客数は、笠岡駅と井原方面（市外）の往復が最も多い。

■ 平日

NO	乗車バス停名	降車バス停名	平均乗降者数（人/日）
1	笠岡駅前	井原方面（市外）	79
2	井原方面（市外）	笠岡駅前	78
3	井原方面（市外）	笠高入口	61
4	笠岡市役所前	井原方面（市外）	53
5	井原方面（市外）	くじば	40
6	くじば	井原方面（市外）	36
7	矢掛方面（市外）	笠高入口	22
8	美の浜バスターミナル	笠岡駅前	21
9	笠岡駅前	美の浜バスターミナル	19
10	追分	笠岡駅前	17

■ 休日（土日祝）

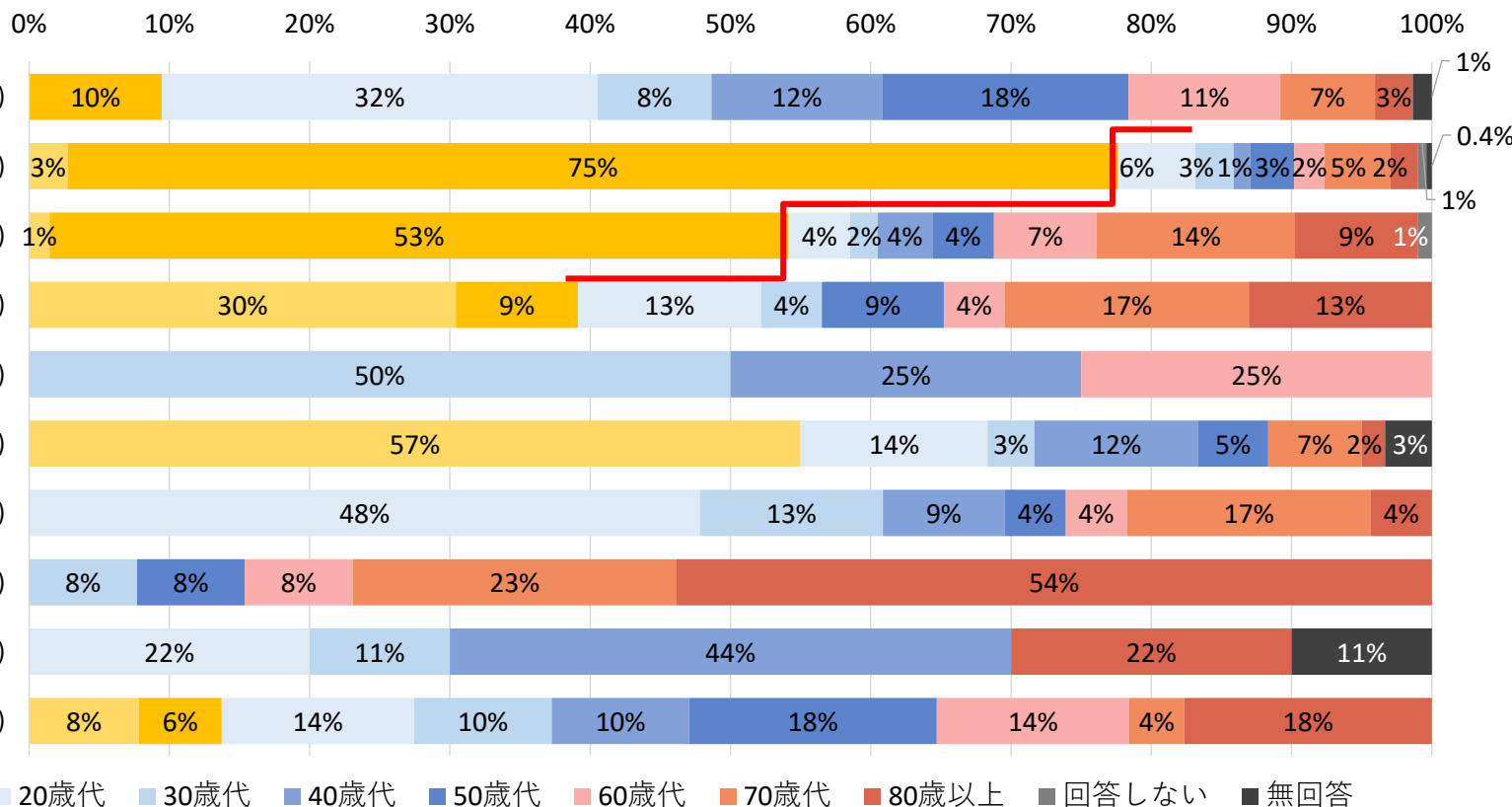
NO	乗車バス停名	降車バス停名	平均乗降者数（人/日）
1	笠岡駅前	井原方面（市外）	34
2	井原方面（市外）	笠岡駅前	23
3	笠岡市役所前	井原方面（市外）	10
4	追分	笠岡駅前	7
5	カプトガニ博物館	笠岡駅前	7
6	井原方面（市外）	笠高入口	7
7	大井小学校前	笠岡駅前	6
8	笠岡駅前	市民会館竹喬美術館前	6
9	井原方面（市外）	笠岡市役所前	6
10	笠岡駅前	追分	5
11	笠岡市役所前	追分	5
12	春日台団地	笠岡駅前	5
13	矢掛方面（市外）	笠高入口	5
14	井原方面（市外）	追分	5

3. 本年度実施する調査について (①路線バス実態調査)

- ・平日の年代別利用状況は、笠岡～井原線、笠岡～矢掛線について、特に15～19歳の学生利用が多い状況であり、学生の通勤通学で多く利用されている。
- ・市内で完結する路線は、笠岡～乗時線を除き60歳以上の利用が約3割を占めている。

■笠岡市年代別利用状況(平日)

総利用者数 967人



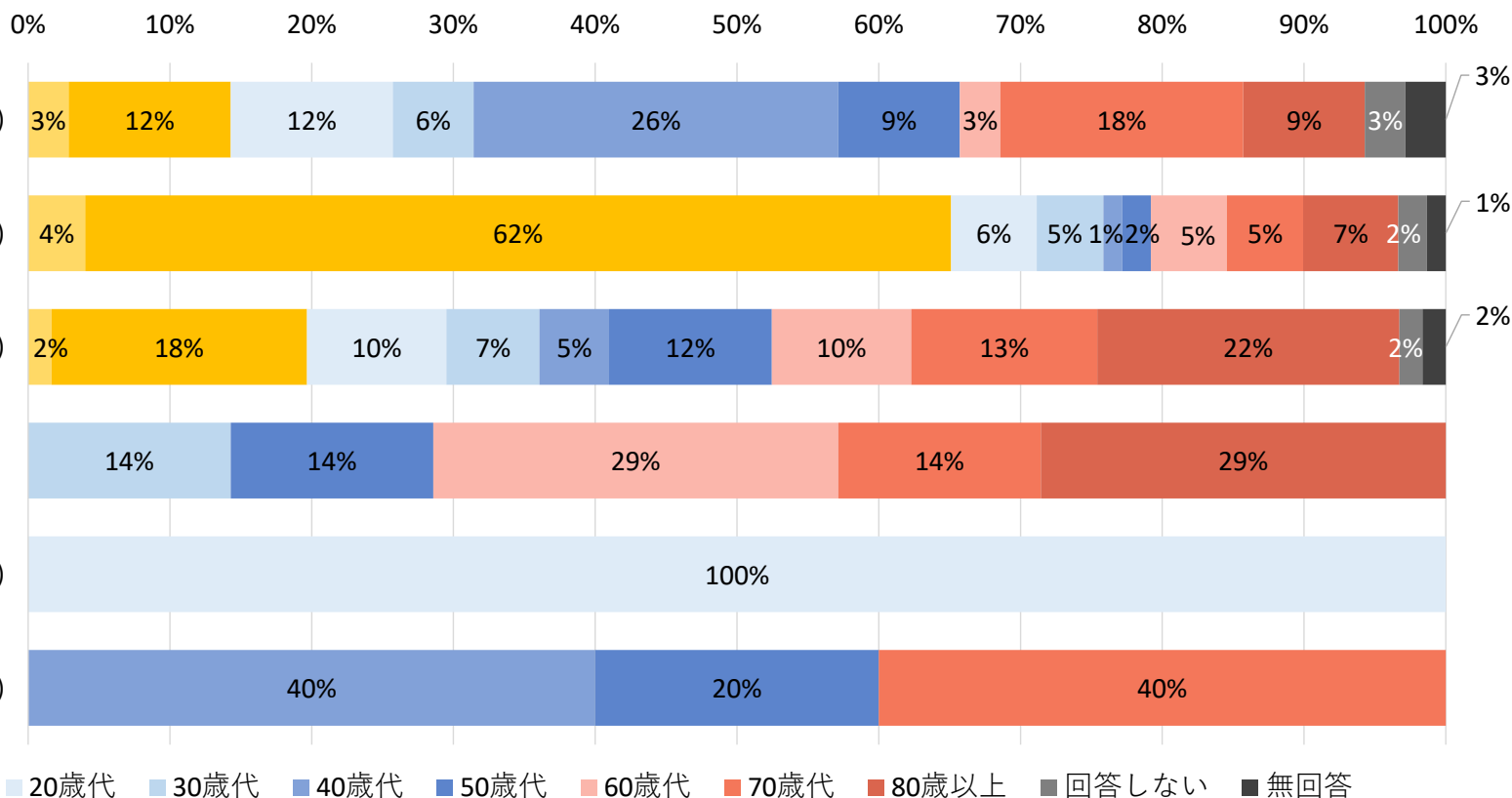
資料：路線バス実態調査（平日・休日1日間 PASPY使用可能な路線を除く市内全便を対象）27

3. 本年度実施する調査について (①路線バス実態調査)

- ・ 休日の年代別利用状況は、美の浜線では、観光利用等もある為か40歳代の利用割合が多い。
- ・ 笠岡～井原線は、平日の同様に特に15～19歳の学生利用が多い状況である。

■ 笠岡市年代別利用状況(休日(土日祝))

総利用者数 255人



資料：路線バス実態調査（平日・休日1日間 PASY使用可能な路線を除く市内全便を対象）28

3. 本年度実施する調査について（③交通事業者ヒアリング等調査）

■ヒアリング対象者

対象	交通事業者・NPO法人
鉄道事業者	JR西日本旅客鉄道株式会社
	井原鉄道株式会社
バス事業者	北振バス株式会社
	株式会社井笠バスカンパニー
	株式会社中国バス
	鞆鉄道株式会社
航路事業者	三洋汽船株式会社
	有限会社笠岡フェリー
	走島汽船有限会社
	瀬戸内中央観光汽船
	笠岡渡船
	幸進丸
白兔渡船	

対象	交通事業者・NPO法人
タクシー事業者	広島県タクシー協会 東部支部
	株式会社笠岡タクシー
NPO法人	有限会社富岡交通
	かさおか島づくり海社

3. 本年度実施する調査について（③交通事業者ヒアリング等調査）

■事業者ヒアリング結果概要

対象者	項目	ヒアリング結果（主な意見）
バス事業者	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化の影響で年々利用者数は減少している。 ・加えて、コロナの影響でR2年に利用者数が激減した(10年後の状況が一気にきた)。 ・R3年になって利用者数は少し回復したが、生活様式の変化(リモートワーク、交通手段の変更、外出機会の削減等)により、利用者が完全には戻ってこない。 ・特に観光利用が戻ってこない。 ・ドライバー不足のため、増便や新たな系統を検討する場合は、どこかを減便、廃止して回すしかない。 ・バス車両の更新、新紙幣への対応、将来的なPASPY廃止への対応も難しい。 ・燃料費高騰によるコスト増が大きい。
	要望	<ul style="list-style-type: none"> ・コストカットは限界まで実施しているため、運行維持のため赤字補填をしてほしい。 ・利用促進策として、イベントとセットで無料デーの実施を検討してほしい。 ・新たな系統を検討するための実証実験を行うための補助をお願いしたい。 ・公設民託での運行が望ましい。
鉄道事業者	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化の影響で年々利用者数は減少している。 ・加えて、コロナの影響でR2年に利用者数が激減した。 ・R3年になって利用者数は少し回復したが、リモートワーク等で、利用者が完全には戻ってこない。 ・観光系とイベントの開催がなくなり、観光客の利用が減った。 ・メンテナンス、車両等の固定経費の負担が大きい【JR西日本】
	要望	<ul style="list-style-type: none"> ・井笠バスとの共通定期の実施【井原鉄道】 ・松永駅、備後赤坂駅の駅前広場整備をしてほしい【JR西日本】
航路事業者	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・離島側の人口減少により、利用者数が減少している。 ・知り合いの漁船を利用するため、定期航路が使われない【福山市】。 ・競合路線が存在し、補助金がもらえない【笠岡市】。 ・燃料高騰によるコスト増が大きい。 ・赤字補填をどうするか。
	要望	<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度を見直してほしい(赤字全額補填)【福山市】 ・行政補助をしてほしい【笠岡市】 ・資金繰りのため市から融資してほしい【福山市】

3. 本年度実施する調査について（③交通事業者ヒアリング等調査）

■事業者ヒアリング結果概要

対象者	項目	ヒアリング結果（主な意見）
タクシー事業者	現状・課題	<ul style="list-style-type: none">・ドライバー不足で、需要に対して十分な対応ができない。・燃料の高騰によるコスト増が大きい。・乗合タクシーは、ドライバー不足で対応は難しい【笠岡市】
	要望	<ul style="list-style-type: none">・市からの助成金を継続してほしい【笠岡市】・決済等のICT化に向けて開発にかかる費用に関する補助をしてほしい【福山市】。
NPO	現状・課題	<ul style="list-style-type: none">・バスの利用は減少傾向にあるが、グリスロ導入により、利用者は増加した。・将来的にはバスを廃止する方向で検討している。
	要望	<ul style="list-style-type: none">・グリスロに物を載せて運べるようにしたい。・将来的には自動運転の導入を行いたい。

4. 交通事業者からの話題提供（地域部会での意見）

■バス事業者からの話題提供

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者は大きく減少。主な理由は、緊急事態宣言と蔓延防止措置等の影響だけでなく、通勤・通学利用の減少。さらに、自家用車の通勤が増え、渋滞悪化に伴い定時性にも影響を与えている。
- 笠岡では、運賃収入を2019年の上半期と2022年を比較すると80.7%になっており、依然として厳しい状況になっている。
- バス事業者も経営を維持するため、経費削減やダイヤの見直しを講じているが、依然として厳しい状況。また、昨今の世界市場により、原油・原材料の高騰など、更に経営を苦しめている。
- 乗務員のなり手不足による高齢化も大きな問題。中国バスにおいても年齢構成でいうと、50歳代が全体の60%を占め、20歳～30歳はわずか8%しか在籍していない。労働時間の長く、雇用の為に給与を上げたいが、赤字経営での中できないのが現状。
- 若い世代の採用に努力しているが、他の事業等に比べてまだ払うことのできる給与は少ない。
- 2025年3月でPASPYが廃止され、更に大きな投資が必要となる。ただし、導入により収入が上がることはなく、飽くまで現在の利用者へ機能を維持するもの。
- 岡山県内では、今年1月より、他バス事業者等と一体となって利用促進策を行っている。今年3月のイベントでは好評を得た。また、学校関係や高齢者施設乗り方教室も実施し、各種イベントへの積極的な参加による知名度向上を行っている。
- また、岡山市で昨年実施された公共交通無料dayも好評であり、倉敷市でも実施。やはり無料であれば、2倍～3倍利用者が増える等、バスの需要はまだ多くあるのではないかと考えている。

4. 交通事業者からの話題提供（地域部会での意見）

■タクシー事業者からの話題提供

- 燃料高騰や乗務員の高齢化に伴う従業員不足などで、非常に苦しい状況。夜を中心に乗客は減少。さらに、大手企業の出張がない為、街中の利用も減少。（現在は、旅行支援もあり、順調に利用者数も増えている。）
- 乗務員の高齢化が進んでおり、タクシー事業は中小の様々な業者もいる為、今後も従業員確保や燃料費高騰の中でどのように事業を維持すればよいか、なかなか打つ手がないというのが現状。
- ただし、コロナ禍で病院送迎がなくなったり、公共交通利用が減ったりした為、昼間の利用者は増加している側面もある。今後、タクシー業界は乗り合いのタクシー等で月に1回程度でも移動手段を確保し、空白地を解消することも必要と考えている。
- また、予約時のアプリを高齢者が使えないことも問題。予約のほとんどは電話予約であり、オペレーターも含めて人手不足の現状で対応が難しい。
- 過疎地の足としてライドシェアが全国的に広まりつつあるが、タクシー協会支部としては、空白地域解消の為にタクシー業界ができることを進めていきたいと考えている。
- 燃料費の高騰による最低賃金の値上げは、会社が補填することになる為、会社負担も大きく、大きな問題。
- 現在のタクシー事業者の取組として、駅前再生の中でタクシーをショットガン方式として、協同で実験を行う予定。また、最低運賃について、値上げの申請を行う予定。

4. 交通事業者からの話題提供（地域部会での意見）

■ 航路事業者からの話題提供

- 航路運営における問題点について、1点目は、人口減少による利用者の減少。島内の人口減少による影響が大きく、島外から集客するために島民と努力はしているものの、島民の高齢化により整備も進んでいない。
- 2点目は、民宿等の送迎の際に個人所有の船舶で行なわれていること。この理由は、島内の道路整備状況により、乗用車での移動が困難なことに起因している。
- 3点目は、過去5年間実施していた、学生や米軍基地勤務者との海岸の清掃事業の中止。清掃時の利用者も減少。
- 4点目は、原油高の高騰。昨年から広島県の助成等もあるが、厳しい状況ではある。
- 昨年度より整備したワカメの陸上養殖施設について、少しではあるが航路の利用に繋がる為、今度はこれに関連して新たに事業が進出していければよい。
- 今後の見通しとして、運賃の回収による増収も視野に入れているが、過大な乗車運賃となっては返って利用者の減少につながる為、慎重に考えていく必要がある。
- 離島航路補助では事前に算出した数字と実際の赤字額との差異は大きいものがある。将来的には、市民の移動として安定化を図る為に、新しい施策としての考え方も持ってほしい。
- 今後、離島関係なく、福山市民の生活を確保するという観点から、関係各位とより良好な関係性で運行できればと思う。
- 人口減少や過度の自動車依存の中で、事業者が連携・地域が一体となって、複数のサービスを最適化した組み合わせが必要と考えている。自社努力だけでは難しい為、補助が活用できる等、公設民営で進めていきたい。

『福山・笠岡地域公共交通計画』 作成に向けた検討

【参考資料②】

2022年（令和4年）11月30日

福山市・笠岡市

地域公共交通のカバー率

(単位：人)

	人口総数	エリア内人口	カバー率
福山市	461,185	442,098	95.9%
笠岡市	46,194	41,046	88.9%

— バス路線
— 航路

バス停

○ 500mエリア

鉄道駅

○ 1kmエリア

乗合タクシーの対象エリア

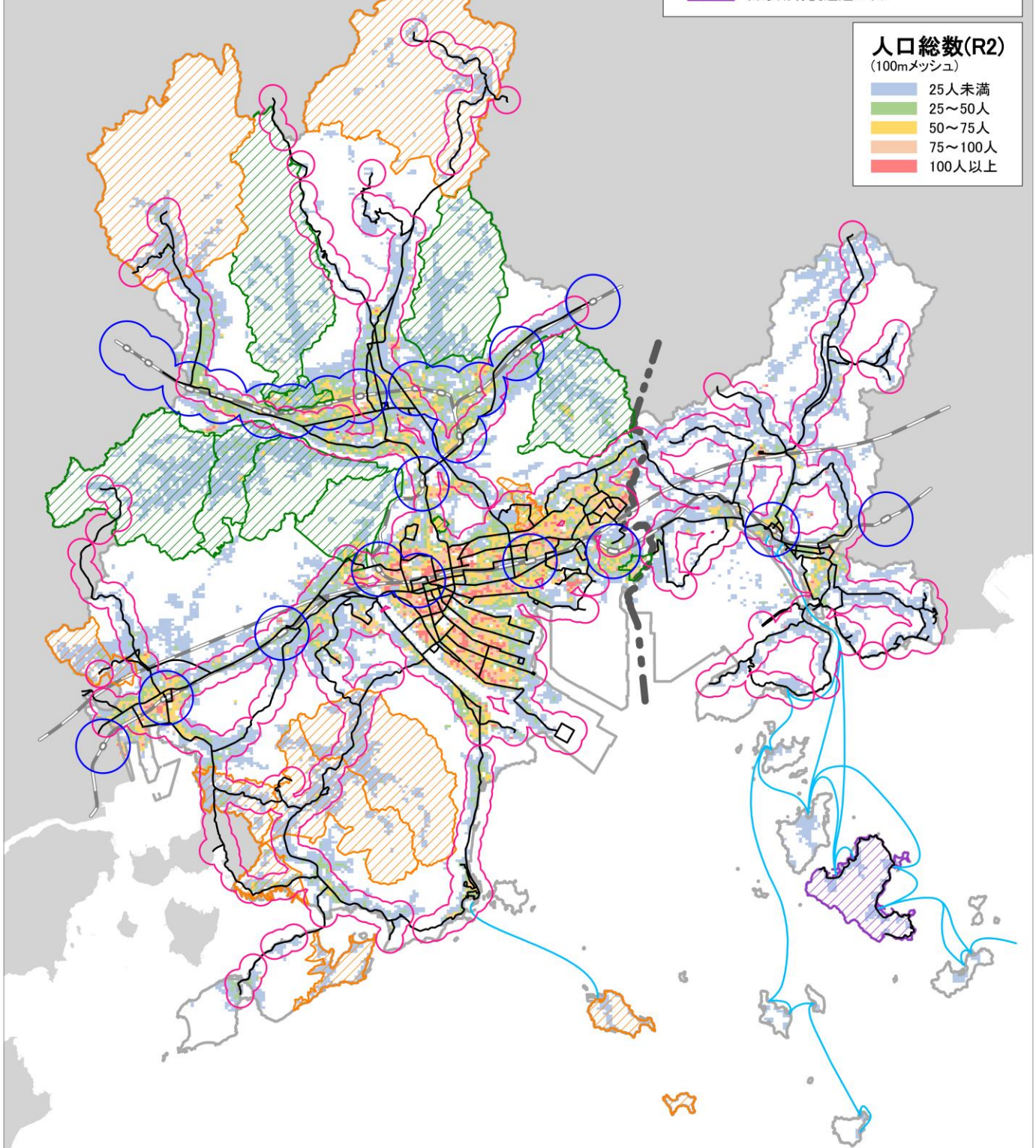
高齢者おでかけ支援事業の対象エリア

自家用有償運送エリア

人口総数(R2)

(100mメッシュ)

- 25人未満
- 25～50人
- 50～75人
- 75～100人
- 100人以上



0 2 4 6 8km

S = 1:135,000



※尚、笠岡市内では、普通運転免許を保有していない75歳以上の方を対象に、高齢者タクシー料金助成事業により、助成券を配布し、市内在住高齢者の外出を支援。また、高齢者のみの世帯の要支援者等を対象に、講習を受けた住民のサポーターが、簡単な家事や病院や買い物への車での移動と付き添いを行い、要支援者等の移動も含めた支援を実施。

バス停別利用状況（平日）

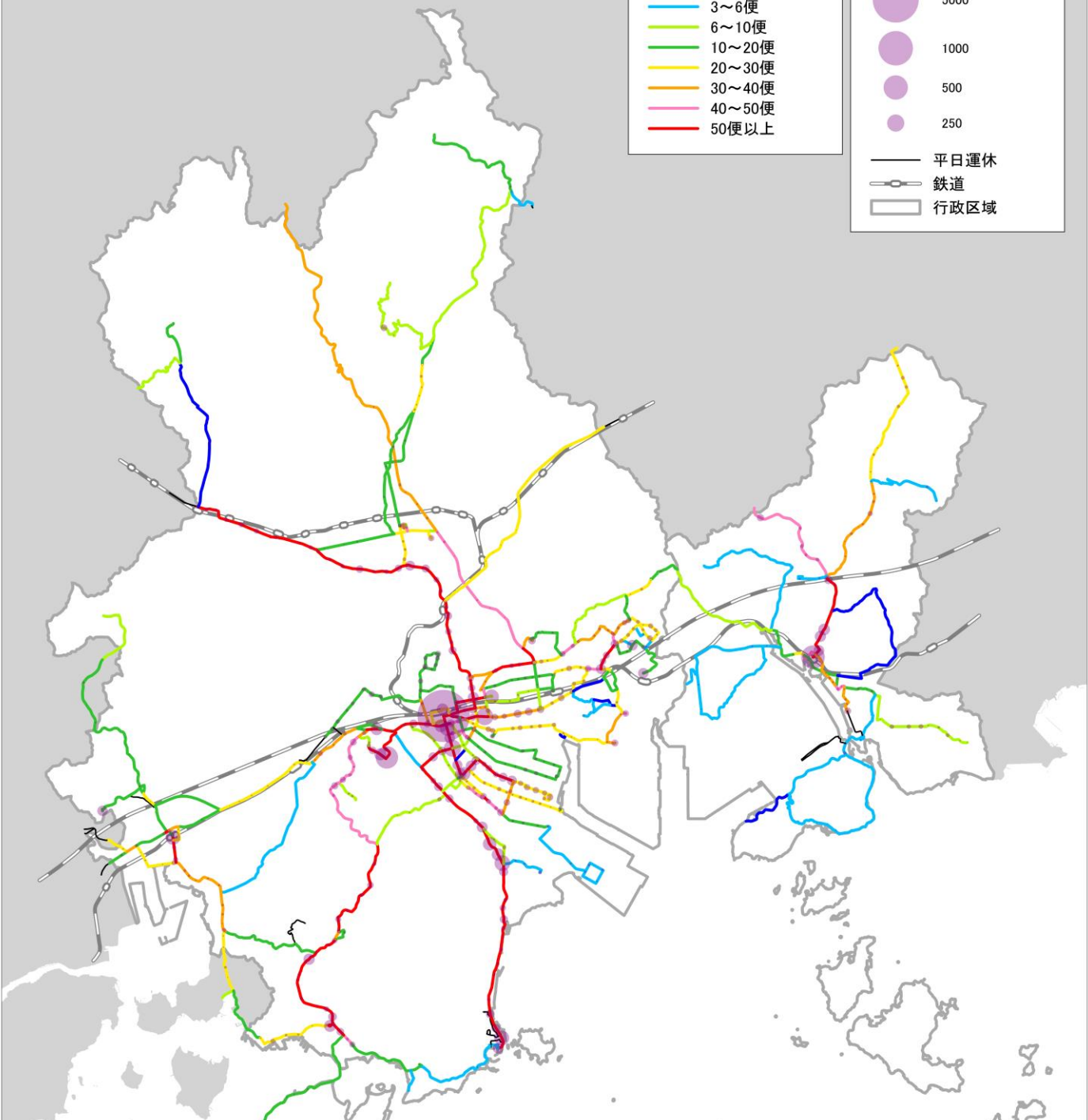
運行便数 （平日）【便/日】

- 3便未満
- 3～6便
- 6～10便
- 10～20便
- 20～30便
- 30～40便
- 40～50便
- 50便以上

バス停利用状況 （平日）【人/日】

- 5000
- 1000
- 500
- 250

- 平日運休
- 鉄道
- 行政区画



■ 福山市

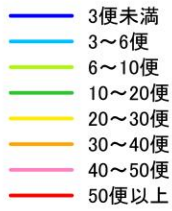
NO	バス停名称	平均乗降者数（人/日）
1	福山駅前	5150
2	明王台センター	423
3	新橋	250
4	野上町	248
5	商業高校入口	209
6	鞆の浦	190
7	松永駅南口	185
8	霞町	173
9	暁の星	172
10	水呑小学校入口	157

■ 笠岡市

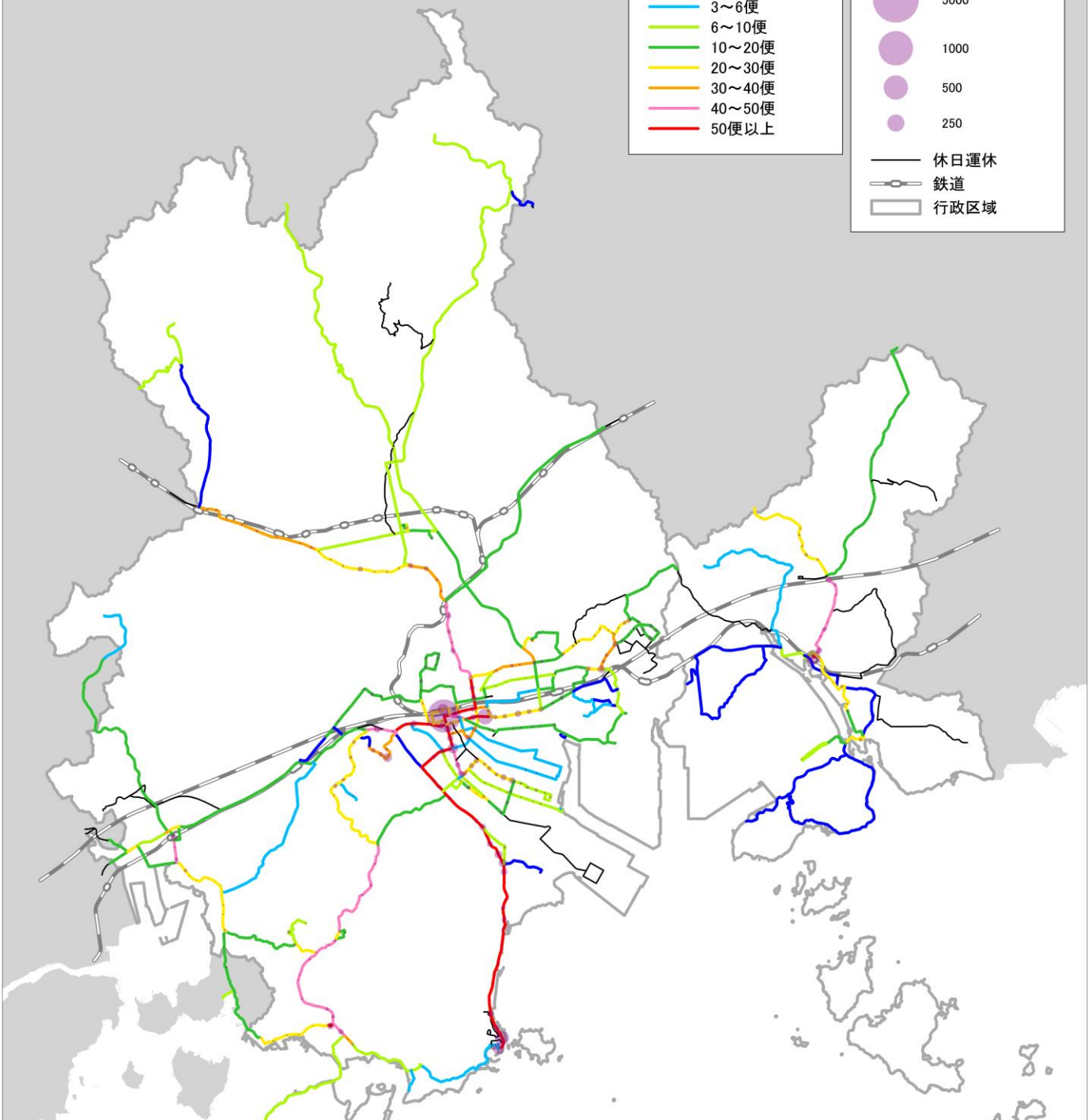
NO	バス停名称	平均乗降者数（人/日）
1	笠岡駅前	472
2	笠高入口	115
3	くじば	107
4	笠岡市役所前	98
5	追分	61
6	養護学校前	45
7	美の浜バスターミナル	41
8	吉田小学校前	24
9	藤曲り	20
10	大島小学校	18

バス停別利用状況（休日）

運行便数 （休日）【便/日】



バス停利用状況 （休日）【人/日】



■福山市

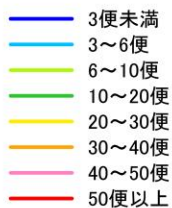
NO	バス停名称	平均乗降者数（人/日）
1	福山駅前	2082
2	新橋	207
3	鞆の浦	164
4	鞆港	121
5	福山駅北口	94
6	野上町	93
7	明王台センター	71
8	商業高校入口	61
9	葛城	56
10	伊勢丘三丁目	49

■笠岡市

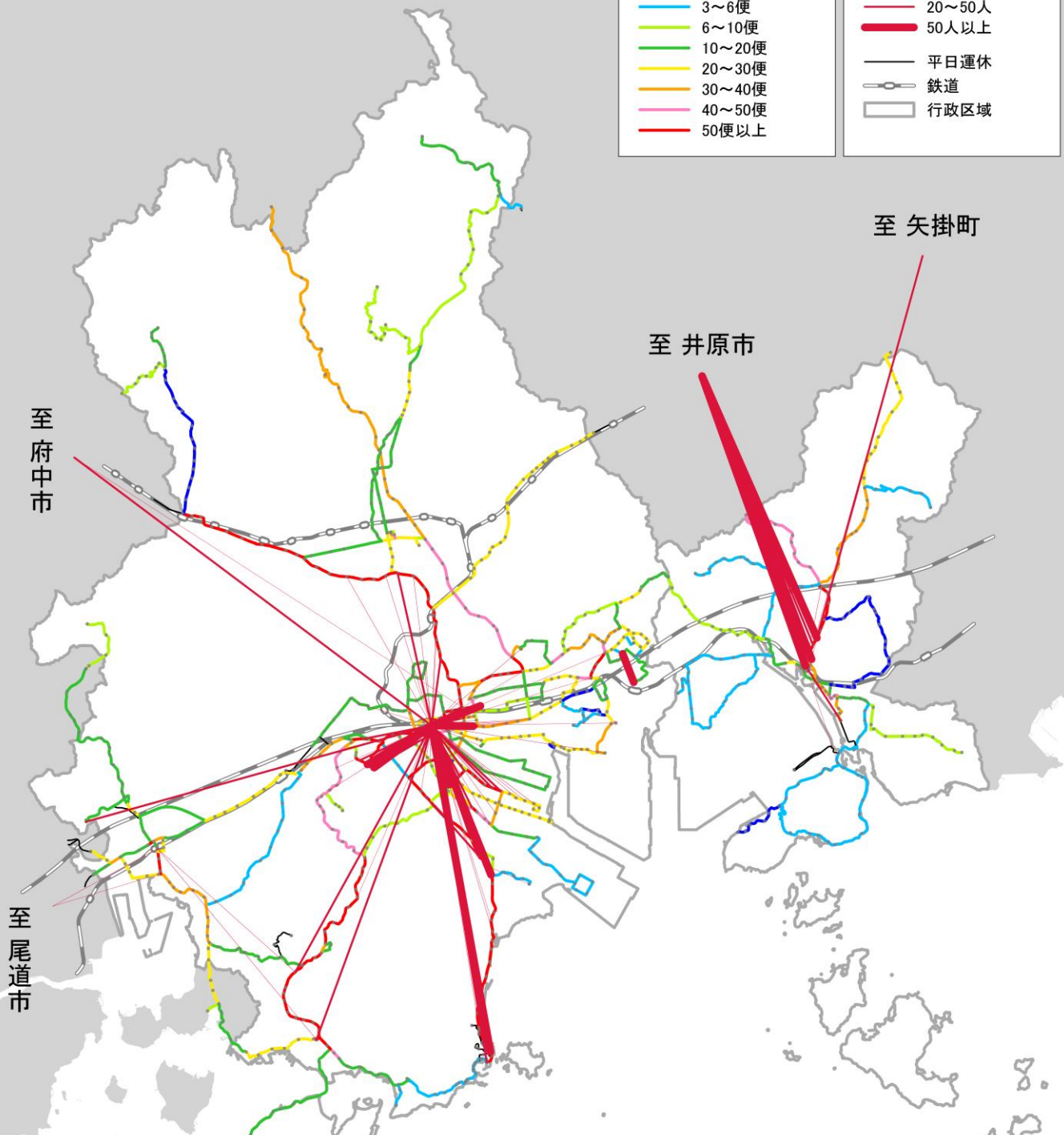
NO	バス停名称	平均乗降者数（人/日）
1	笠岡駅前	177
2	笠岡市役所前	34
3	追分	27
4	笠高入口	19
5	カプトガニ博物館	12
6	大井小学校前	11
7	美の浜バスターミナル	9
8	市民会館竹喬美術館前	9
9	吉田小学校前	7
10	春日台団地	7

バス停区間別利用状況（平日）

運行便数 （平日）【便/日】



バス停間OD （平日）【人/日】



■ 福山市

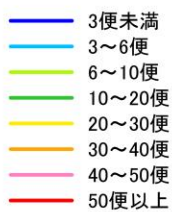
NO	乗車バス停名	降車バス停名	平均乗降者数 (人/日)
1	福山駅前	明王台センター	207
2	明王台センター	福山駅前	118
3	福山駅前	野上町	93
4	新橋	福山駅前	87
5	明王台中	福山駅前	85
6	福山駅前	商業高校入口	85
7	福山駅前	暁の星	81
8	商業高校入口	福山駅前	81
9	福山駅前	鞆の浦	68
10	福山医療センター	福山駅前	63

■ 笠岡市

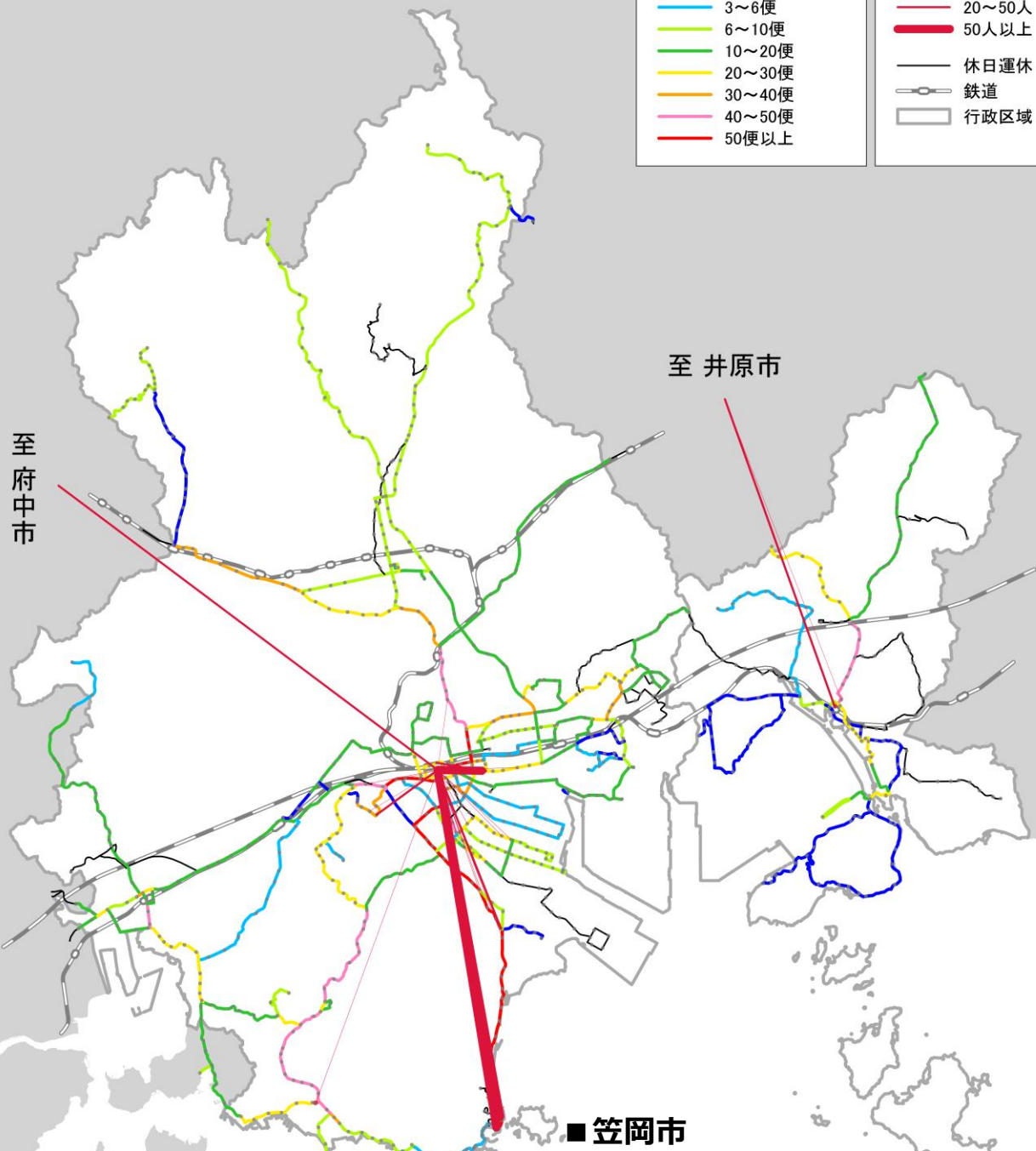
NO	乗車バス停名	降車バス停名	平均乗降者数 (人/日)
1	笠岡駅前	井原方面 (市外)	79
2	井原方面 (市外)	笠岡駅前	78
3	井原方面 (市外)	笠高入口	61
4	笠岡市役所前	井原方面 (市外)	53
5	井原方面 (市外)	くじば	40
6	くじば	井原方面 (市外)	36
7	矢掛方面 (市外)	笠高入口	22
8	美の浜バスターミナル	笠岡駅前	21
9	笠岡駅前	美の浜バスターミナル	19
10	追分	笠岡駅前	17

バス停区間別利用状況（休日）

運行便数 （休日）【便/日】



バス停間OD （休日）【人/日】



■福山市

NO	乗車バス停名	降車バス停名	平均乗降者数（人/日）
1	新橋	福山駅前	85
2	福山駅前	鞆の浦	74
3	鞆の浦	福山駅前	61
4	鞆港	福山駅前	52
5	福山駅前	鞆港	48
6	福山駅北口	新橋	44
7	新市駅前	新市駅前	42
8	福山駅前	野上町	38
9	福山駅前	明王台センター	32
10	明王台センター	福山駅前	29

■笠岡市

NO	乗車バス停名	降車バス停名	平均乗降者数（人/日）
1	笠岡駅前	井原方面（市外）	34
2	井原方面（市外）	笠岡駅前	23
3	笠岡市役所前	井原方面（市外）	10
4	追分	笠岡駅前	7
5	カプトガニ博物館	笠岡駅前	7
6	井原方面（市外）	笠高入口	7
7	大井小学校前	笠岡駅前	6
8	笠岡駅前	市民会館竹喬美術館前	6
9	井原方面（市外）	笠岡市役所前	6
10	笠岡駅前	追分	5
11	笠岡市役所前	追分	5
12	春日台団地	笠岡駅前	5
13	矢掛方面（市外）	笠高入口	5
14	井原方面（市外）	追分	5

0 2 4 6 8km

S = 1:135,000

